

別冊資料

平成29年度鳥取県に関するイメージ調査(概要)

平成30年3月



目次

I. 調査概要

1. 調査概要	2
2. 対象者プロフィール	3

II. 調査結果

1. 鳥取県への訪問経験・鳥取県のイメージについて	
1-1. 鳥取県への訪問経験	7
1-2. 『鳥取県』と言われて連想されるもの	8
1-3. 『砂丘』以外の連想するもの	9
1-4. 鳥取県の色	11
1-5. 鳥取県に対するイメージ	12
1-6. 鳥取県に最も当てはまる県のイメージ	13
1-7. 鳥取県の天候に対するイメージ	14
2. 鳥取県の話題・特産物・観光地について	
2-1. 見聞きしたことのある鳥取県に関する話題	16
2-2. 鳥取県の「特産物」の認知・食用経験・食用意向	17
2-3. 鳥取県の「観光地等」の認知・訪問経験・訪問意向	21
2-4. 鳥取県の魅力点と魅力不足点	25
2-5. 鳥取県の魅力向上に必要な分野	26
2-6. 鳥取県に関する主な情報入手経路	27
2-7. 鳥取県について得たい情報	28
3. 鳥取県への訪問意向について	
3-1. 鳥取県への訪問意向	30
3-2. 鳥取県への非訪問意向理由	31
3-3. 今後の鳥取県への訪問時の主要目的	32
3-4. 鳥取県への訪問意向ランキング順位	33
3-5. 鳥取県に対する満足度	34

1. 調査概要

■ 調査目的	首都圏など14都府県在住者を対象に、本県のイメージや地域資源の認知度、観光・余暇等を把握する。
■ 調査名	「鳥取県」の観光に関する、14都府県調査
■ 調査地域	①首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県) ②関西圏(大阪府・兵庫県・京都府) ③中京(愛知県) ④中国・四国(広島県・岡山県・愛媛県・香川県・徳島県) ⑤九州圏(福岡県)
■ 調査方法	インターネット調査
■ 対象者	上記エリアに居住する、10代以上の男女個人
■ 回収数	5,400サンプル ①首都圏(2,400サンプル) ②関西圏(900サンプル) ③中京(300サンプル) ④中国・四国(1,500サンプル) ⑤九州圏(300サンプル)
■ 実施期間	2018年1月29日(月)～2月5日(月)
■ 実施機関	楽天リサーチ株式会社

2. 対象者プロフィール①

		エリア(居住地)													
		東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	愛知県	大阪府	兵庫県	京都府	広島県	岡山県	愛媛県	香川県	徳島県	福岡県
		%													
	(n)														
2015年全体	(5400)	11.1	11.1	11.1		11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
2016年全体	(5400)	11.1	11.1	11.1		11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
2017年全体	(5400)	11.1	11.1	11.1		11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6

【対象者: 全員】

		性別		年代					
		男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
		%		%					
	(n)								
2015年全体	(5400)	49.8	50.2	6.8	26.0	17.2	16.7	16.7	16.7
2016年全体	(5400)	49.8	50.2	8.4	24.0	17.5	16.7	16.7	16.7
2017年全体	(5400)	49.1	50.9	11.2	21.2	17.1	17.0	16.7	16.7
エリア	首都圏	(2400)	48.6	51.4	12.6	20.7	16.7	16.7	16.7
	関西圏	(900)	49.0	51.0	15.4	17.9	16.7	16.7	16.7
	中京	(300)	49.7	50.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7
	中国・四国	(1500)	49.9	50.1	5.1	25.1	18.3	18.0	16.9
	九州圏	(300)	49.0	51.0	13.0	20.3	16.7	16.7	16.7

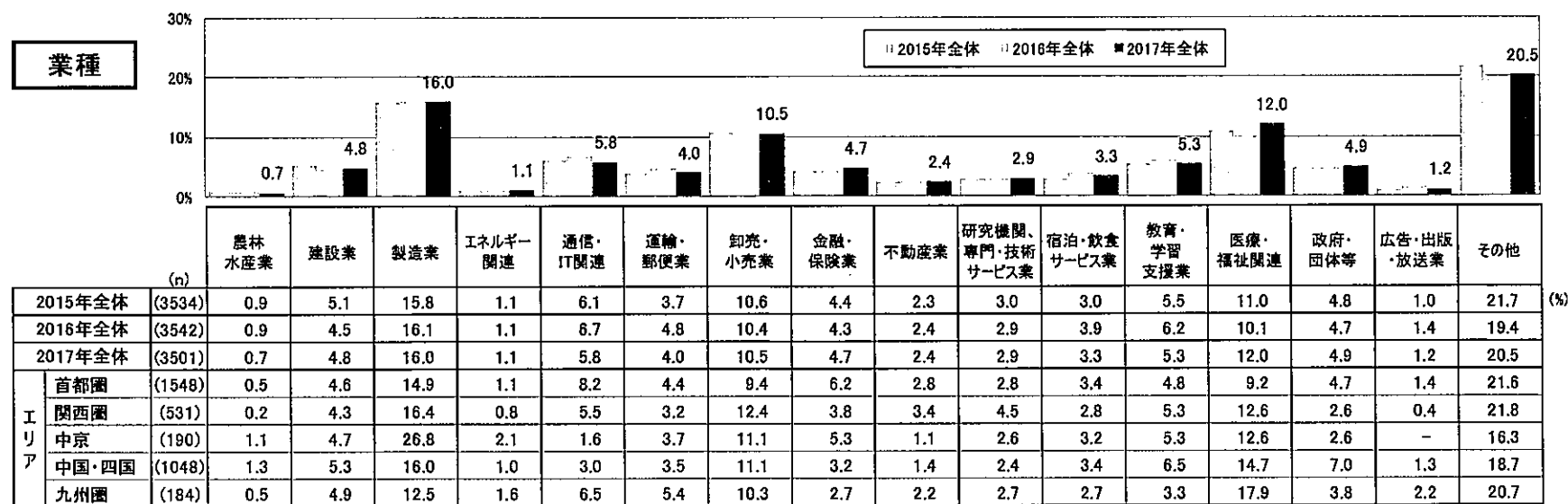
【対象者: 全員】

【対象者: 全員】

2. 対象者プロフィール②

職業		(n)										(%)
		自営業	会社役員・団体役員	会社員	公務員・団体職員	パート・アルバイト	学生	専業主夫・主婦	無職	その他		
2015年全体	(5400)	6.1	2.2	36.7	5.4	12.6	9.4	15.7	9.5	2.4		
2016年全体	(5400)	5.7	1.8	36.6	6.5	12.6	10.4	14.9	9.2	2.3		
2017年全体	(5400)	5.5	1.9	36.4	6.1	12.6	12.8	13.5	8.8	2.3		
エリア	首都圏	5.3	1.8	37.7	4.8	12.8	14.7	13.0	7.8	2.2		
	関西圏	5.4	1.9	32.7	5.0	12.3	17.0	13.9	10.1	1.7		
	中京	3.3	2.0	37.3	7.3	12.0	14.3	14.7	7.7	1.3		
	中国・四国	6.7	2.0	36.1	9.3	13.0	6.9	13.8	9.4	2.7		
	九州圏	4.3	2.3	36.7	3.3	10.7	13.7	14.0	11.0	4.0		

【対象者：全員】



【対象者：有職者】

2. 対象者プロフィール③





世帯年収		(n)							(%)		
		100万円未満	100万円以上～ 300万円未満	300万円以上～ 500万円未満	500万円以上～ 700万円未満	700万円以上～ 1,000万円未満	1,000万円以上～ 1,500万円未満	1,500万円以上			
2015年全体	(5400)	8.3	19.7	26.6	18.5	15.8	8.3	2.7			
2016年全体	(5400)	7.5	17.2	27.6	21.2	15.2	8.5	2.8			
2017年全体	(5400)	8.8	16.4	26.6	20.2	16.3	8.6	3.2			
エリア	首都圏	(2400)	8.2	13.2	25.3	20.3	17.9	11.2	4.0		
	関西圏	(900)	10.2	18.2	26.1	18.6	15.1	8.2	3.6		
	中京	(300)	5.7	14.0	27.0	21.3	18.3	10.0	3.7		
	中国・四国	(1500)	8.7	19.7	29.3	20.5	14.5	5.1	2.1		
	九州圏	(300)	13.0	22.0	24.3	21.0	14.0	4.3	1.3		

【対象者: 全員】

II. 調査結果

1. 鳥取県への訪問経験・鳥取県のイメージについて

※数表内の網掛け

	2017年全体値より10%以上高いもの
	2017年全体値より5%以上高いもの
	2017年全体値より5%以上低いもの
	2017年全体値より10%以上低いもの

但し、n=30未満は除く。
(以降のページも同様。)

1-1. 鳥取県への訪問経験

◆ 訪問経験率は、この3年間でそれほど変化はなく、半数弱で推移している。

- エリア別でみると、中国・四国(広島県・岡山県・愛媛県・香川県・徳島県)と、関西圏(大阪府・兵庫県・京都府)、西エリアの訪問経験率は7割前後で、他エリアに比べて高い。一方、首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)や、中京(愛知県)、九州圏(福岡県)の訪問経験率が相対的に低い。特に首都圏では3割弱にとどまる。
- エリア×年代別では、総じて各エリアとも年代が上がるほど訪問経験率は上昇するという傾向がみられ、特に60代以上で顕著となっている。

Q5. あなたは、鳥取県を訪れたことがありますか。(ひとつだけ)

訪問経験あり or
居住経験あり計

訪問経験あり or
居住経験あり計

	(n)	(%)			計
		訪れたことがある	居住したことがある	一度も行ったことがない	
2015年全体	(5400)	47.2	11.2	51.7	48.3
2016年全体	(5400)	46.8	10.7	52.4	47.6
2017年全体	(5400)	47.2	10.8	52.0	48.0
エリア×年代					
首都圏	(2400)	26.5	10.3	73.3	26.8
10代	(303)	8.3	0	91.7	8.0
20代	(497)	24.3	1.4	75.3	24.7
30代	(400)	22.8	0	77.3	22.0
40代	(400)	21.3	0	78.8	21.3
50代	(400)	27.8	1.8	71.5	28.5
60代以上	(400)	50.5	10.5	49.0	51.0
関西圏	(900)	67.8	10.9	31.3	68.7
10代	(139)	45.3	0	54.7	45.3
20代	(161)	59.0	10.6	40.4	59.6
30代	(150)	66.0	1.3	32.7	67.3
40代	(150)	69.3	0	30.7	69.3
50代	(150)	79.3	2.7	18.0	82.0
60代以上	(150)	86.7	10.7	12.7	87.3
中京	(300)	36.0	10.7	63.3	36.7
10代	(50)	24.0	0	76.0	24.0
20代	(50)	20.0	0	80.0	20.0
30代	(50)	32.0	0	68.0	32.0
40代	(50)	40.0	2.0	58.0	42.0
50代	(50)	44.0	0	56.0	44.0
60代以上	(50)	56.0	2.0	42.0	58.0

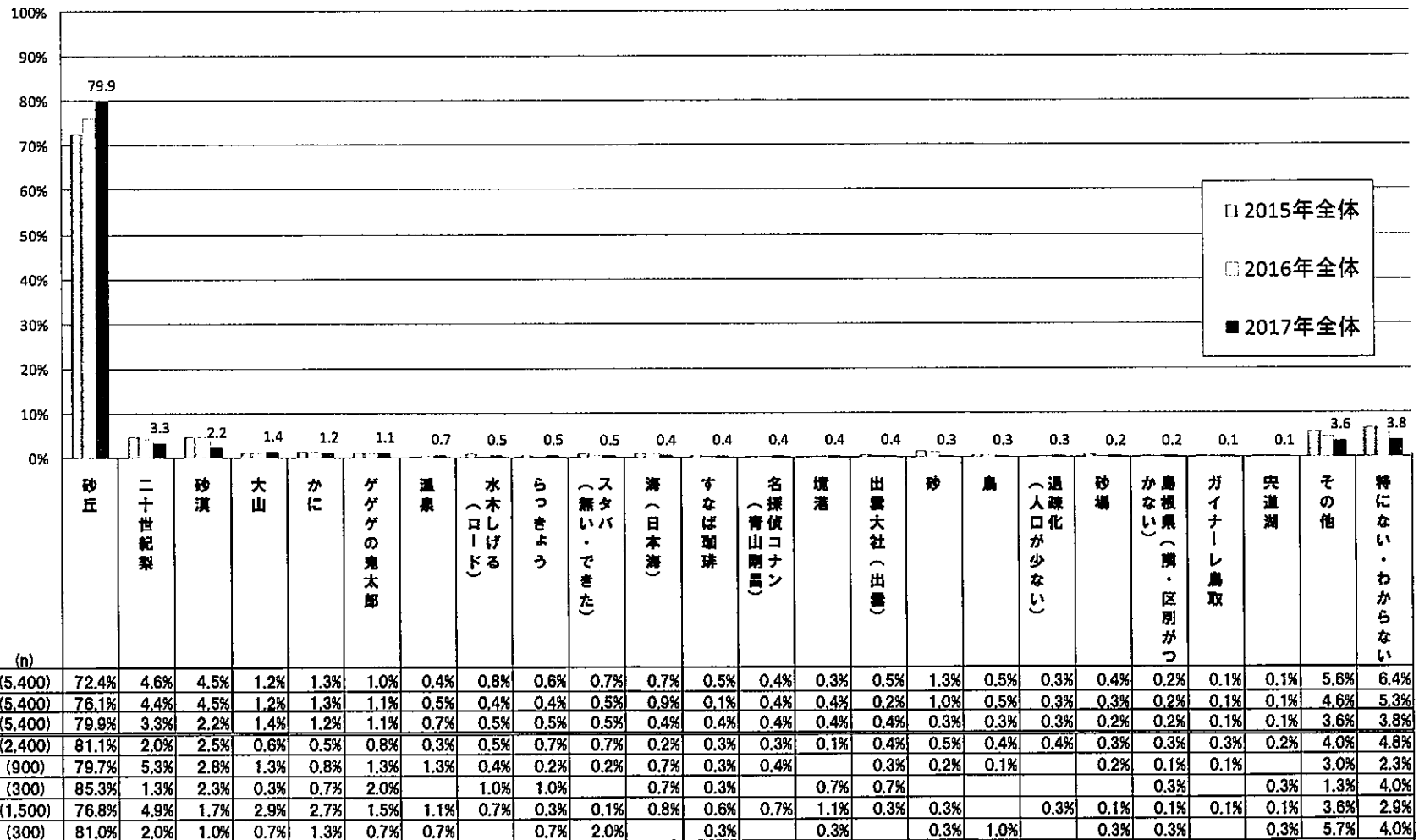
	(n)	(%)			計
		訪れたことがある	居住したことがある	一度も行ったことがない	
2015年全体	(5400)	47.2	11.2	51.7	48.3
2016年全体	(5400)	46.8	10.7	52.4	47.6
2017年全体	(5400)	47.2	10.8	52.0	48.0
エリア×年代					
中国・四国	(1500)	72.1	1.4	26.5	73.5
10代	(76)	68.4	1.3	30.3	69.7
20代	(377)	63.7	1.3	35.0	65.0
30代	(274)	69.7	1.5	28.8	71.2
40代	(270)	72.2	1.1	26.7	73.3
50代	(253)	75.9	1.2	22.9	77.1
60代以上	(250)	84.8	2.0	13.2	86.8
九州圏	(300)	38.3	1.3	60.3	39.7
10代	(39)	17.9	0	82.1	17.9
20代	(81)	31.1	1.6	67.2	32.6
30代	(50)	32.0	2.0	66.0	34.0
40代	(50)	36.0	0	64.0	36.0
50代	(50)	42.0	0	58.0	42.0
60代以上	(50)	68.0	4.0	28.0	72.0

【対象者:全員】

1-2. 『鳥取県』と言われて連想されるもの

- ◆ 「鳥取砂丘」(79.9%) が突出して高く、前年と比べ3.8pt増加した。一方で「砂漠」(2.2%)は、前年からの減少幅が最も大きく、2.3pt下がった。
- ◆ 「特にない・わからない」が、減少傾向にある。

Q6. あなたは「鳥取県」と言われて何を連想しますか。(自由回答)

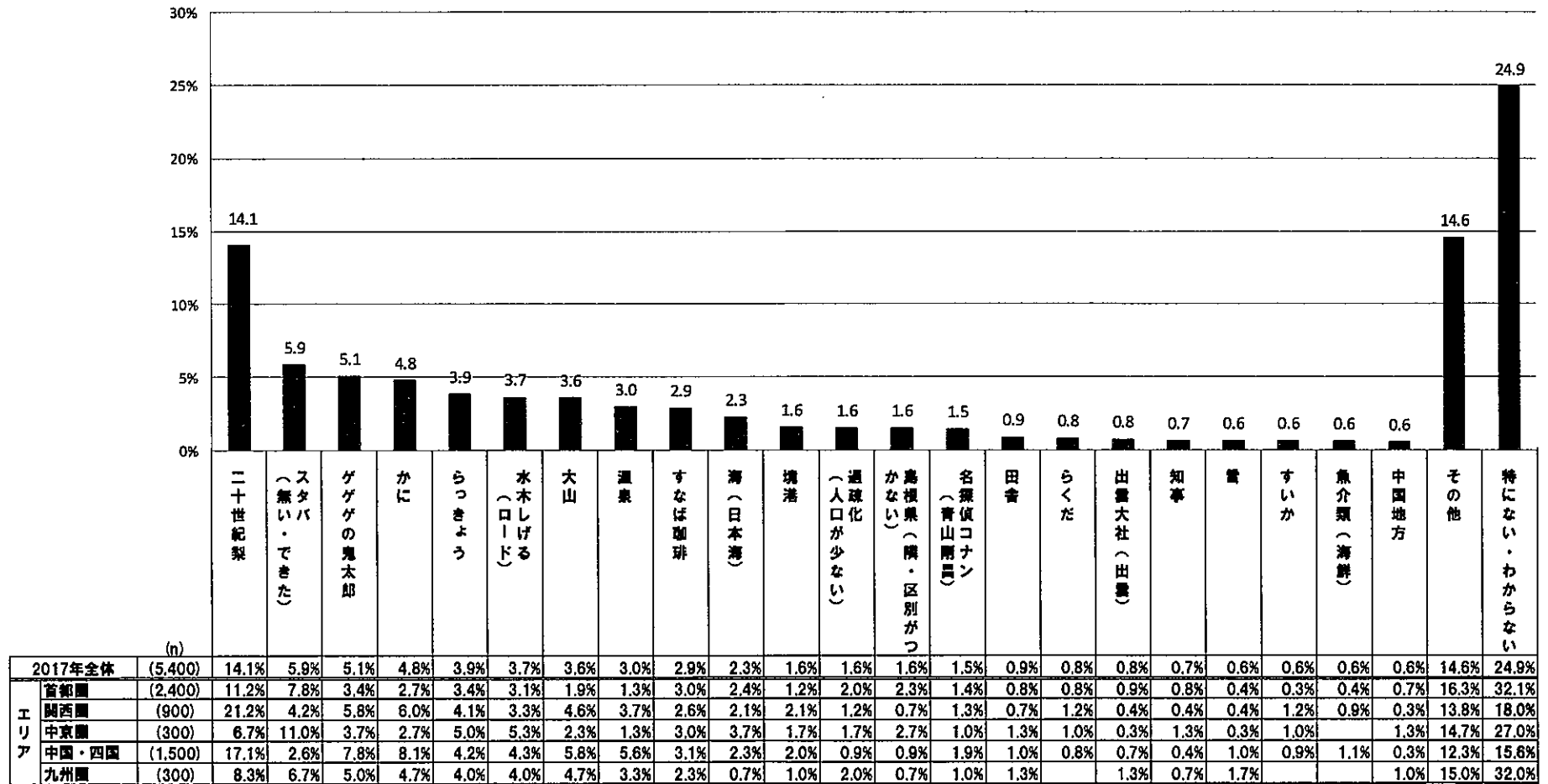


【対象者:全員】

1-3. 『砂丘』以外の連想するもの

- ◆ 砂丘以外の回答については多岐に分散し、0.5%以下の回答の合計が14.6%に上る。
- ◆ 「特にない・わからない」(24.9%)が突出して高い。
- ◆ 「二十世紀梨」(14.1%)が二番目に高く、「スタバ(無い・できた)」(5.9%)、「ゲゲゲの鬼太郎」(5.1%)、「かに」(4.8%)が続く。

Q7. 「砂丘」以外で「鳥取県」と言われて何を連想しますか。 ※前問の回答以外でお答えください。(自由回答)



【対象者:全員】

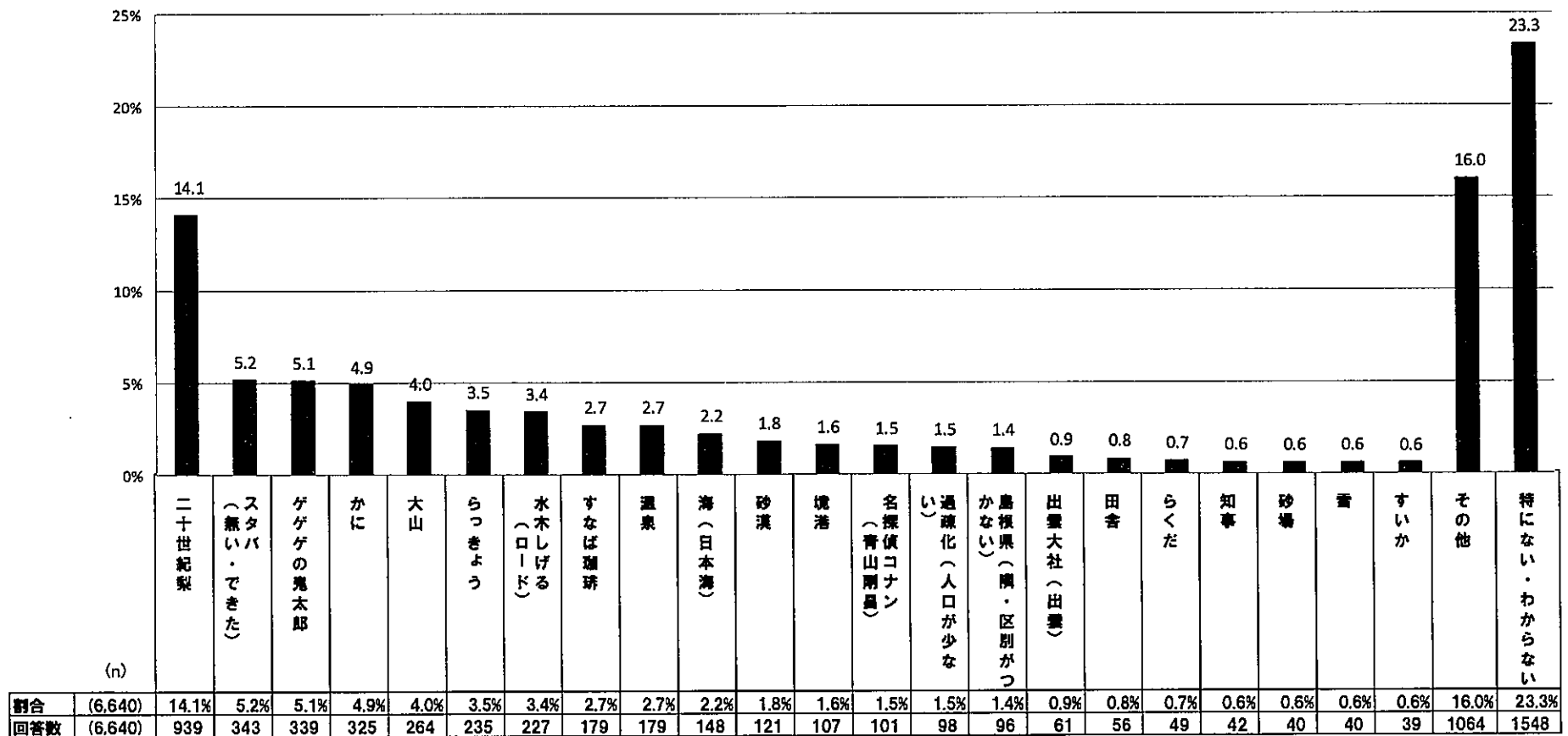
1-3. 『砂丘』を除いた鳥取県を連想するもの(Q6とQ7の回答数合計)

- ◆ 砂丘以外の回答については多岐に分散し、0.5%以下の回答の合計が16.0%に上る。
- ◆ 「特にない・わからない」(23.3%)が突出して高い。
- ◆ 「二十世紀梨」(14.1%)が二番目に多く、「スタバ(無い・できた)」(5.2%)、「ゲゲゲの鬼太郎」(5.1%)、「かに」(4.9%)が続く。

以下2問での『砂丘』以外の回答数を集計

Q6. あなたは「鳥取県」と言われて何を連想しますか。(自由回答)

Q7. 「砂丘」以外で「鳥取県」と言われて何を連想しますか。 ※前問の回答以外でお答えください。(自由回答)

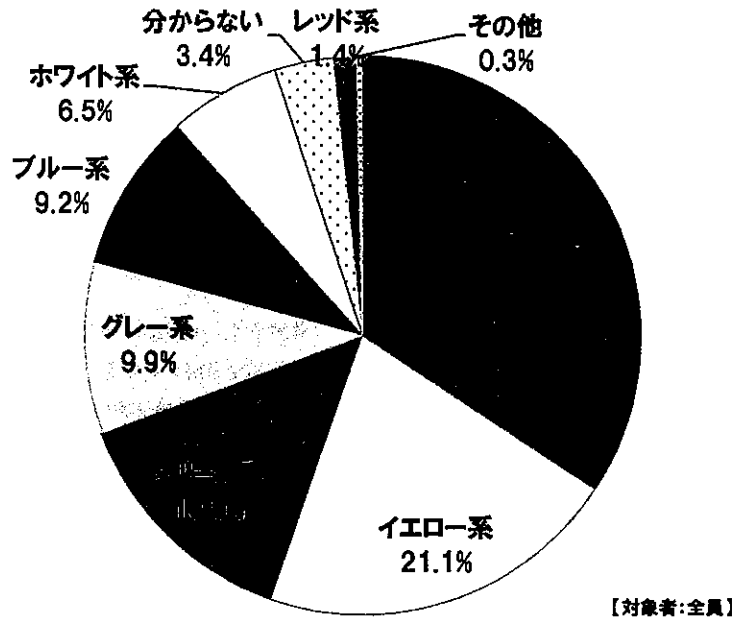


1-4. 鳥取県の色

- ◆ 「ブラウン系」(34.3%)と「イエロー系」(21.1%)で全体の約6割を占めており、前年から大きな変化はない。
- ◆ 60代以上ではグレー系の比率も高い。
- ◆ 中京圏、九州圏では、ブラウン系の比率が特に高い。

Q6. 鳥取県を色で表現するとすれば何色でしょうか。(自由回答)

	(n)	ブラウン系	イエロー系	グリーン系	グレー系	ブルー系	ホワイト系	レッド系	その他	わからない・特にな
2015年全体	(5,400)	38.0%	19.9%	9.1%	12.0%	6.4%	8.0%	0.9%	0.4%	5.4%
2016年全体	(5,400)	38.8%	20.1%	10.1%	10.1%	6.3%	8.4%	1.3%	0.5%	4.4%
2017年全体	(5,400)	34.3%	21.1%	13.9%	9.9%	9.2%	6.5%	1.4%	0.3%	3.4%
エリア										
首都圏	(2,400)	35.0%	21.8%	11.4%	11.4%	8.2%	6.1%	1.3%	0.3%	4.5%
関西圏	(900)	35.4%	22.3%	17.4%	4.6%	9.8%	5.6%	1.4%	0.1%	3.3%
中京圏	(300)	40.7%	21.7%	8.3%	8.0%	6.7%	9.3%	2.0%	0.7%	2.7%
中国・四国	(1,500)	29.7%	19.3%	17.5%	11.7%	10.9%	7.0%	1.3%	0.3%	2.3%
北九州	(300)	41.3%	20.3%	11.7%	7.3%	10.0%	6.3%	1.7%	0.0%	1.3%

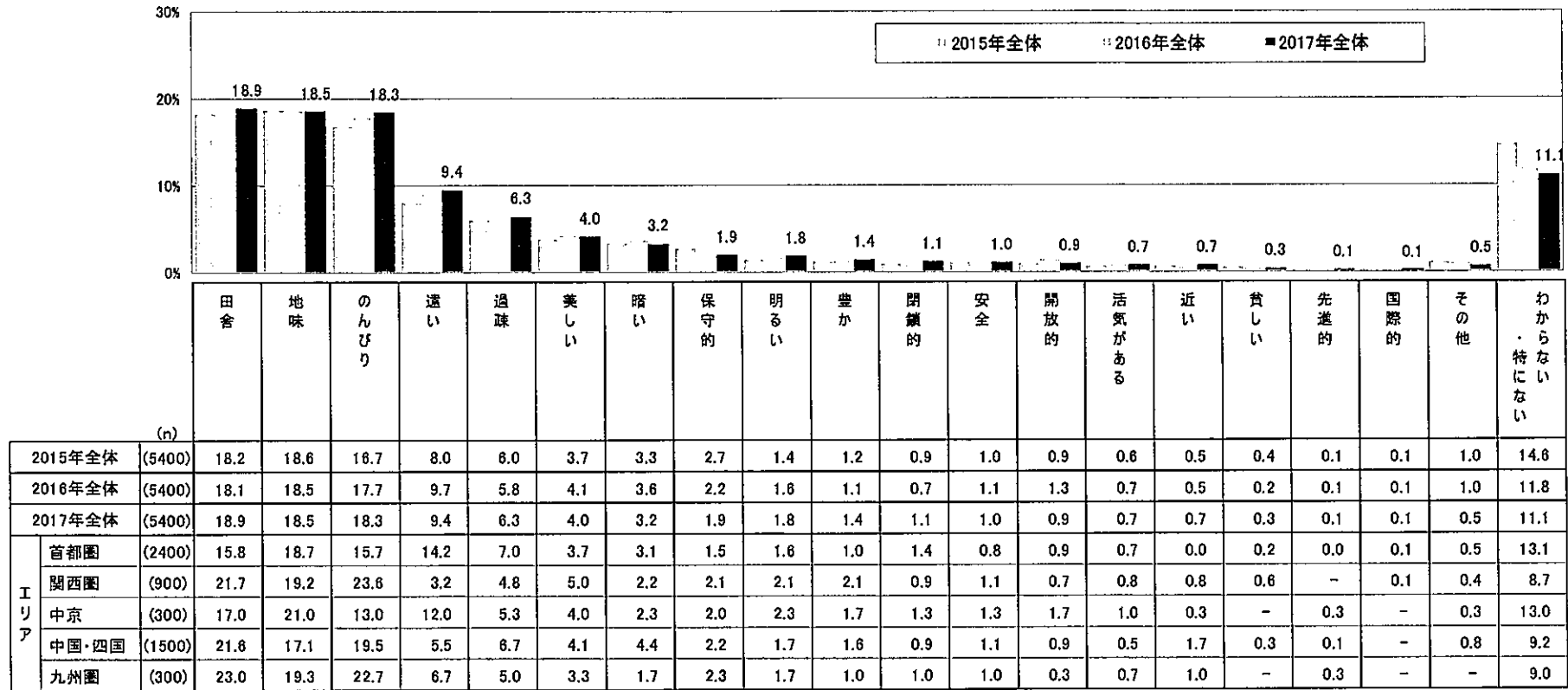


	(n)	ブラウン系	イエロー系	グリーン系	グレー系	ブルー系	ホワイト系	レッド系	その他	わからない・特にな
2015年全体	(5,400)	38.0%	19.9%	9.1%	12.0%	6.4%	8.0%	0.9%	0.4%	5.4%
2016年全体	(5,400)	38.8%	20.1%	10.1%	10.1%	6.3%	8.4%	1.3%	0.5%	4.4%
2017年全体	(5,400)	34.3%	21.1%	13.9%	9.9%	9.2%	6.5%	1.4%	0.3%	3.4%
10代	(807)	37.1%	27.0%	21.4%	2.1%	6.9%	2.1%	1.5%	0.2%	1.6%
20代	(1,146)	40.5%	23.3%	19.1%	2.1%	6.5%	3.1%	1.7%	0.1%	3.7%
30代	(924)	38.1%	25.2%	14.6%	3.6%	8.0%	5.1%	1.7%	0.2%	3.5%
40代	(920)	32.2%	22.0%	12.9%	8.7%	11.3%	6.8%	1.5%	0.1%	4.3%
50代	(903)	33.8%	16.6%	8.1%	17.2%	10.1%	8.7%	0.9%	0.7%	4.0%
60代以上	(900)	23.1%	13.8%	8.6%	25.8%	12.7%	12.4%	0.7%	0.4%	2.6%
首都圏	(2,400)	35.0%	21.8%	11.4%	11.4%	8.2%	6.1%	1.3%	0.3%	4.5%
10代	(303)	36.3%	26.7%	19.1%	3.3%	6.9%	3.0%	1.3%	0.3%	3.0%
20代	(497)	42.1%	25.8%	16.3%	2.6%	3.8%	3.6%	1.4%		4.4%
30代	(400)	39.3%	26.3%	10.3%	5.3%	7.5%	4.5%	1.8%	0.5%	4.8%
40代	(400)	36.0%	23.5%	8.3%	9.3%	9.8%	5.5%	1.5%		6.3%
50代	(400)	34.3%	15.8%	7.0%	19.0%	8.5%	9.3%	1.0%	0.5%	4.8%
60代以上	(400)	20.8%	13.3%	8.3%	29.3%	13.5%	10.8%	0.5%	0.5%	3.3%
関西圏	(900)	35.4%	22.3%	17.4%	4.6%	9.8%	5.6%	1.4%	0.1%	3.3%
10代	(139)	38.8%	28.8%	25.2%		4.3%		2.2%		0.7%
20代	(161)	41.0%	21.7%	21.1%		6.8%	2.5%	2.5%		4.3%
30代	(150)	34.7%	28.0%	18.0%	1.3%	10.0%	5.3%	1.3%		1.3%
40代	(150)	32.0%	19.3%	20.0%	4.7%	13.3%	5.3%	1.3%	0.7%	3.3%
50代	(150)	37.3%	17.3%	11.3%	9.3%	9.3%	7.3%	0.7%		7.3%
60代以上	(150)	28.7%	19.3%	9.3%	12.0%	14.7%	12.7%	0.7%		2.7%
中京圏	(300)	40.7%	21.7%	8.3%	8.0%	6.7%	9.3%	2.0%	0.7%	2.7%
10代	(50)	48.0%	26.0%	12.0%	2.0%	6.0%	4.0%	2.0%		
20代	(50)	52.0%	18.0%	14.0%		8.0%	2.0%	4.0%		2.0%
30代	(50)	38.0%	42.0%	10.0%		2.0%	6.0%	2.0%		
40代	(50)	38.0%	20.0%	4.0%	14.0%	4.0%	14.0%			6.0%
50代	(50)	36.0%	16.0%	2.0%	14.0%	10.0%	16.0%		2.0%	4.0%
60代以上	(50)	32.0%	16.0%	8.0%	18.0%	10.0%	14.0%	4.0%	2.0%	4.0%
中国・四国	(1,500)	29.7%	19.3%	17.5%	11.7%	10.9%	7.0%	1.3%	0.3%	2.3%
10代	(76)	30.3%	26.3%	26.3%	2.6%	13.2%		1.3%		
20代	(377)	35.0%	22.8%	23.3%	2.9%	8.5%	3.2%	1.1%	0.3%	2.9%
30代	(274)	38.7%	19.3%	19.3%	3.3%	8.8%	5.5%	2.2%		2.9%
40代	(270)	24.4%	22.2%	18.1%	8.9%	13.7%	8.1%	1.5%		3.0%
50代	(253)	28.5%	18.2%	10.7%	19.8%	13.4%	7.5%	1.2%	1.2%	1.6%
60代以上	(250)	11.6%	10.0%	32.0%	10.8%	14.8%	14.8%	0.4%	0.4%	1.6%
九州圏	(300)	41.3%	20.3%	11.7%	7.3%	10.0%	6.3%	1.7%		1.3%
10代	(39)	35.9%	25.6%	28.2%		5.1%	5.1%			
20代	(61)	50.8%	14.8%	14.8%		13.1%		4.9%		1.6%
30代	(50)	36.0%	24.0%	18.0%	2.0%	8.0%	6.0%			6.0%
40代	(50)	38.0%	18.0%	10.0%	10.0%	12.0%	8.0%	4.0%		
50代	(50)	44.0%	24.0%			16.0%	8.0%			
60代以上	(50)	40.0%	18.0%	2.0%	16.0%	12.0%	12.0%			

1-5. 鳥取県に対するイメージ

- ◆ 順位の変動はなく、「田舎」(18.9%)、「地味」(18.5%)、「のんびり」(18.3%)がトップ3で、合計すると過半数を占める。
- ◆ 「わからない・特にない」は、減少傾向にある。

Q9. あなたが鳥取県に対して持っているイメージに最も当てはまるものを、1つ選んでください。(ひとつだけ)



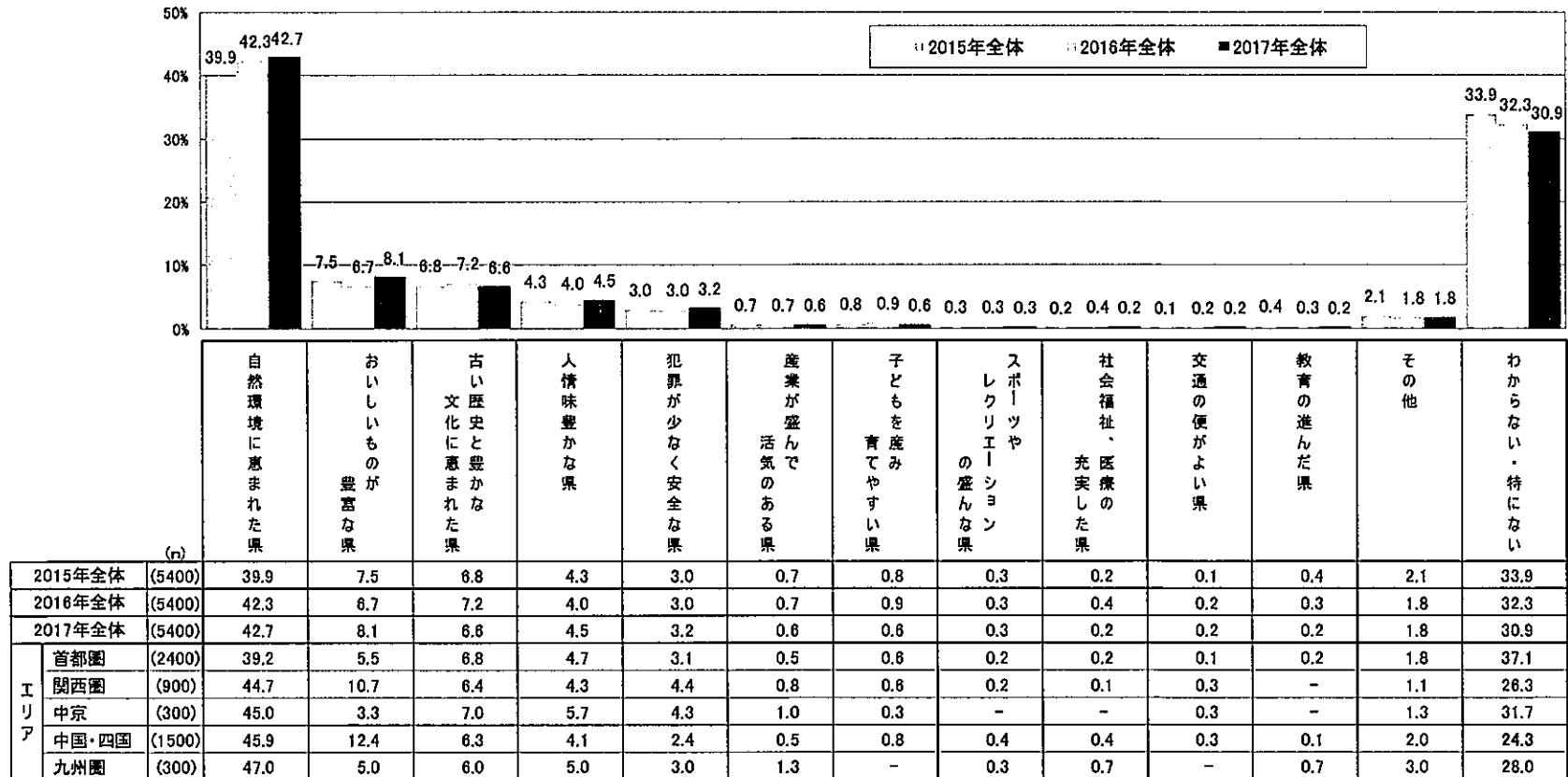
※「2017年全体」で降順ソート。

【対象者:全員】

1-6. 鳥取県に最も当てはまる県のイメージ

- ◆ 「自然環境に恵まれた県」(42.7%)が突出して高く、「おいしいものが豊富な県」(8.1%)、「古い歴史と豊かな文化に恵まれた県」(6.6%)が続く。
- ◆ 3人に1人(30.9%)が「わからない・特にない」と回答しているが、減少傾向にある。

Q10. あなたは鳥取県をどのような県だと思いますか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



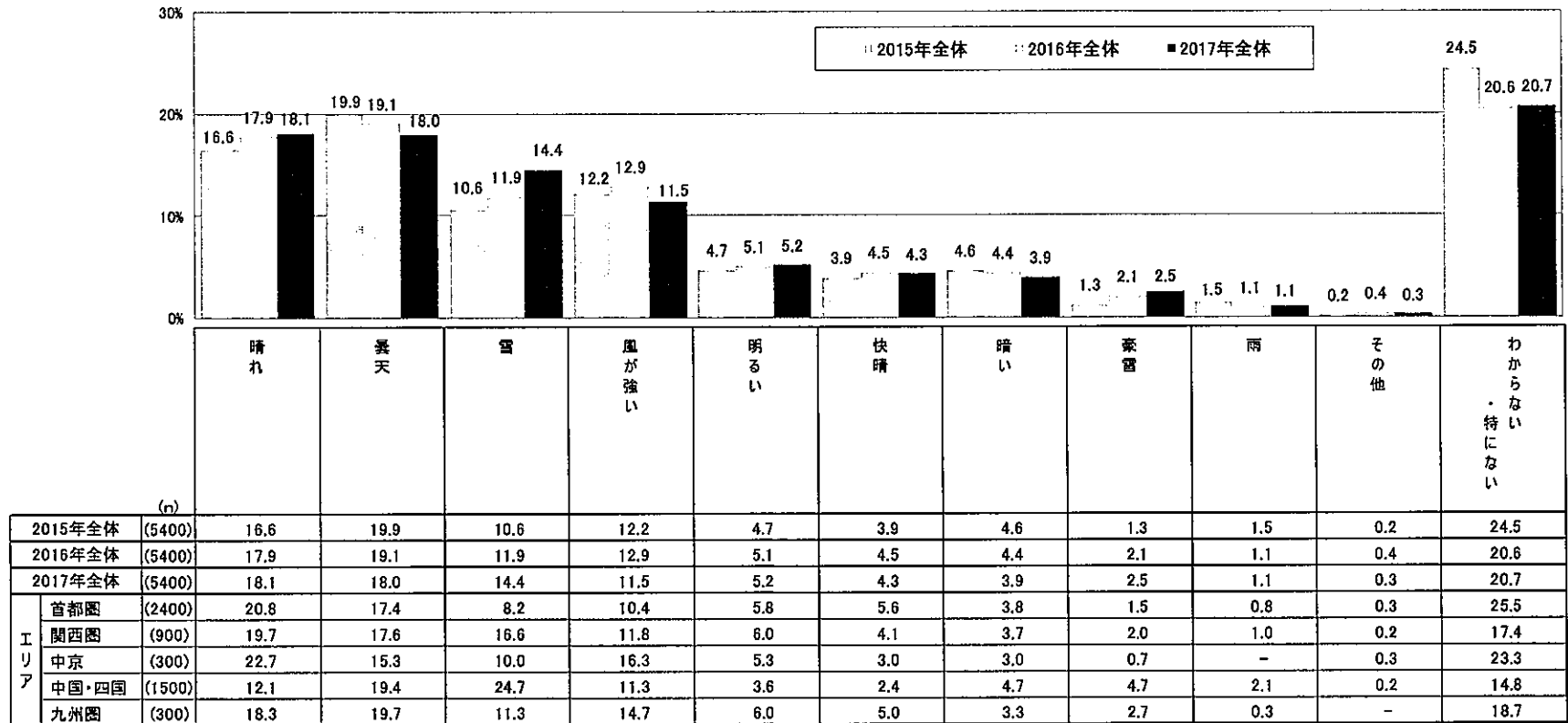
※「2017年全体」で降順ソート。

【対象者:全員】

1-7. 鳥取県の天候に対するイメージ

- ◆ 「晴れ」(18.1%)が調査開始以来はじめて1位となった。僅差で「曇天」(18.0%)、「雪」(14.4%)、「風が強い」(11.5%)が続く。
- ◆ 2割強の人が「わからない・特にない」と回答。
- ◆ 「雪」が微増傾向にあり、エリア別で見ると特に中四国で高い。

Q11. あなたが鳥取県の天候に対して持っているイメージに最も当てはまるものを1つ選んでください。(ひとつだけ)







※「2017年全体」で降順ソート。

【対象者:全員】

2. 鳥取県の話題・特産物・観光地について

※数表内の網掛け

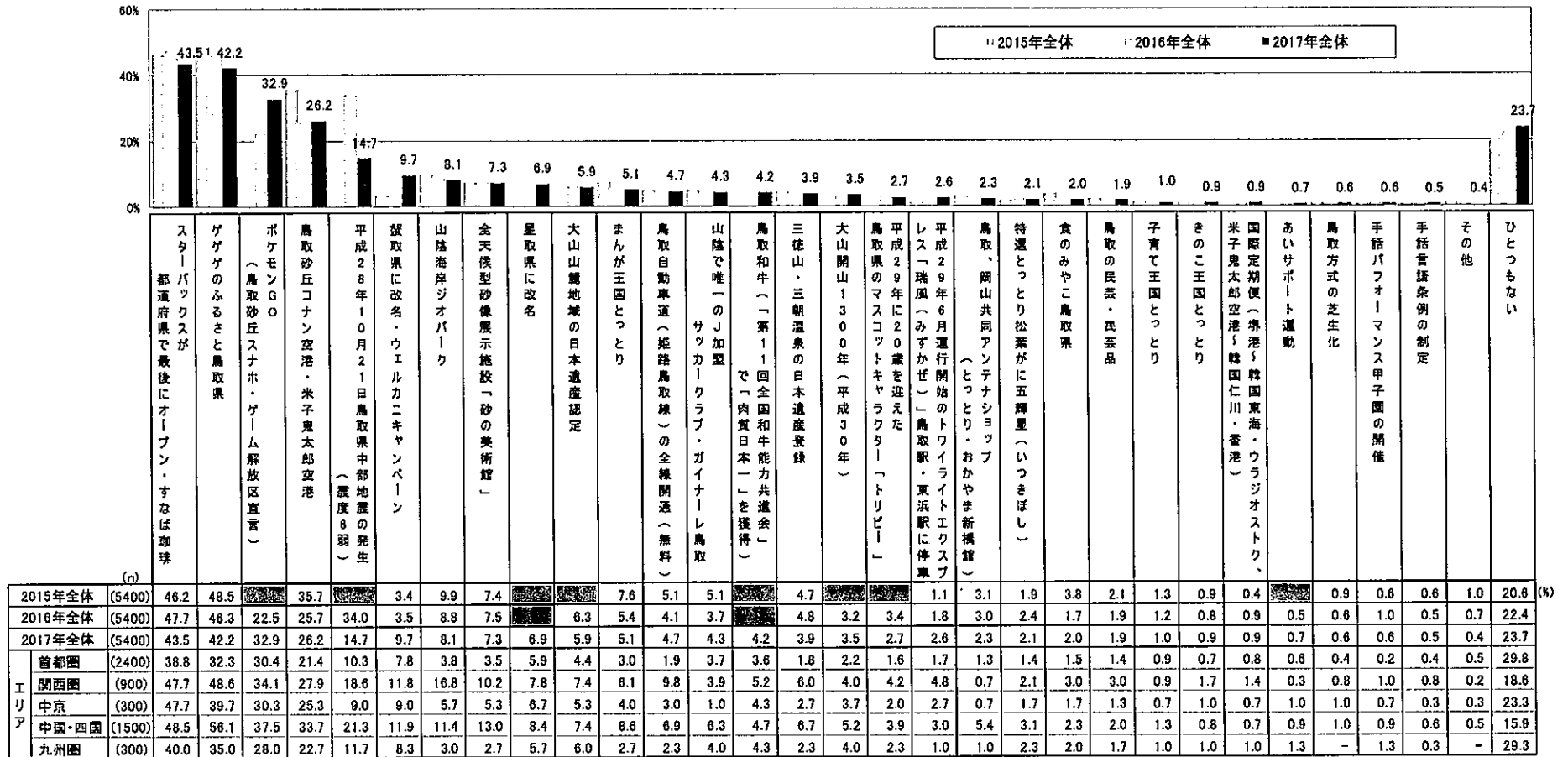
-  2017年全体値より10%以上高いもの
-  2017年全体値より5%以上高いもの
-  2017年全体値より5%以上低いもの
-  2017年全体値より10%以上低いもの

但し、n=30未満は除く。
(以降のページも同様。)

2-1. 見聞きしたことがある鳥取県に関する話題

- ◆ 「スターボックスが都道府県で最後にオープン・すなば珈琲」(43.5%)が1位、「ゲゲゲのふるさと鳥取県」(42.2%)が2位で、トップ2は前年と同じ。
- ◆ 「ポケモンGO(鳥取砂丘スナホ・ゲーム解放区宣言)」(32.9%)が3位で、前年より10.4pt上昇した。
- ◆ 新規項目では「星取県に改名」(6.9%)が9位、「鳥取和牛」(4.2%)が14位となっている。
- ◆ 「平成28年10月21日鳥取県中部地震の発生(震度6弱)」(14.7%)が前年より19.3pt減少し、ほぼ半減した。
- ◆ 「蟹取県に改名・ウェルカニキャンペーン」は前年から6.2pt増加した。

Q12. 鳥取県の話題に関するものです。あなたが聞いたことのあるもの全てを選んでください。(いくつでも)



※「2017年全体」で降順ソート。

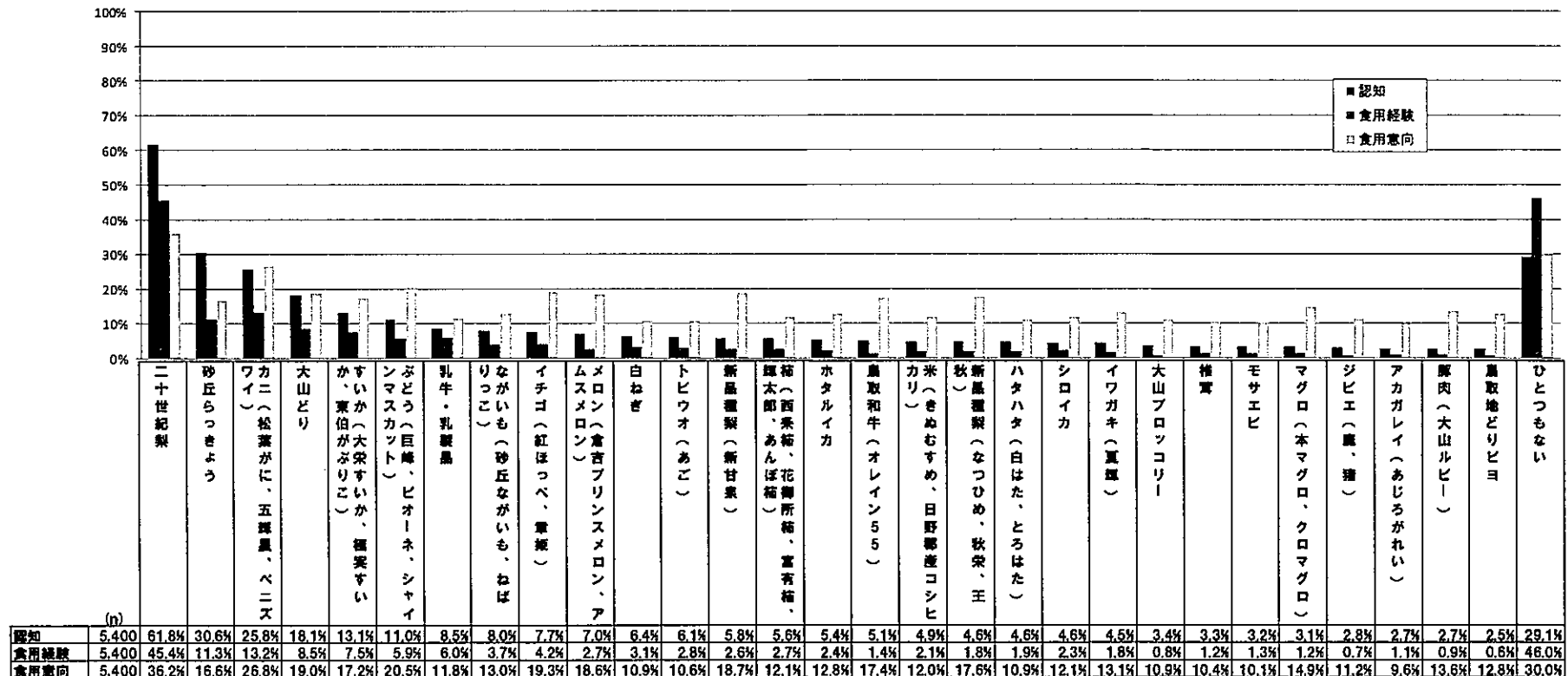
※「国際定期便(堺港→韓国東海・ウラジオストク、米子鬼太郎空港→韓国仁川・香港)」の2015年は、「環日本海圏航路(北東アジアゲートウェイ)」で曜取。

【対象者:全員】

2-2. 鳥取県の「特産物」の認知・食用経験・食用意向 <全体一覧>

- ◆ 全ての指標で「二十世紀梨」がトップ。
- ◆ 認知では「二十世紀梨」(61.8%)、「砂丘らっきょう」(30.6%)、「カニ(松葉がに、五輝星、ベニズワイガニ)」(25.8%)の順で高く、「ひとつもない」(29.1%)は全体の3割弱にとどまり、全体の7割強が何らかの特産物を認知している。
- ◆ 食用経験では「二十世紀梨」(45.4%)、「カニ(松葉がに、五輝星、ベニズワイガニ)」(13.2%)、「砂丘らっきょう」(11.3%)の順で高い。一方、半数近くが「ひとつもない」(46.0%)と回答している。
- ◆ 食用意向では「二十世紀梨」(36.2%)、「カニ(松葉がに、五輝星、ベニズワイガニ)」(26.8%)、「ぶどう(巨峰、ピオーネ、シャインマスカット)」(20.5%)の順で高く、次いで「イチゴ(紅ほっぺ、章姫)」(19.3%)、「大山どり」(19.0%)、「新品種梨(新甘泉)」(18.7%)、「メロン(倉吉プリンスメロン、アムスメロン)」(18.6%)等が拮抗している。「ひとつもない」(30.0%)は全体の3割弱にとどまり、全体の7割強が何らかの特産品への食用意向を示している。

Q13. 鳥取県が主な産地である「農産物・畜産物・水産物」で、あなたが、[1] 鳥取県が産地であることを知っているもの、[2] 鳥取県産で食べたことがあるもの、[3] 鳥取県産で食べてみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)

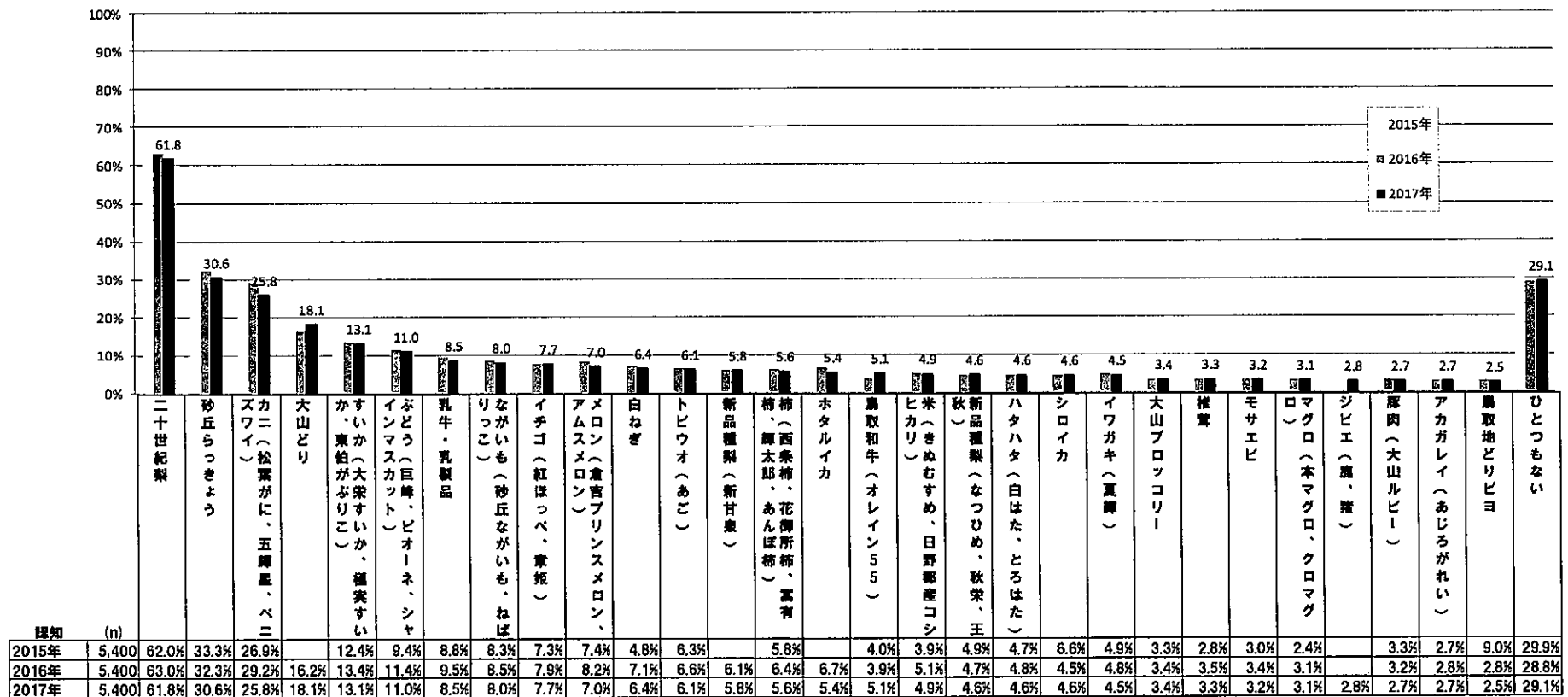


2-2. 鳥取県の「特産物」の認知・食用経験・食用意向 <認知の推移>

◆ 「大山どり」(18.1%)が1.9pt、「鳥取和牛(オレイン55)」(5.1%)が1.2pt、それぞれ前年より微増した。

Q13. 鳥取県が主な産地である「農産物・畜産物・水産物」で、あなたが、[1] 鳥取県が産地であることを知っているもの、[2] 鳥取県産で食べたことがあるもの、[3] 鳥取県産で食べてみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)

※うち「鳥取県が産地であることを知っているもの」の回答



※「カニ(松葉がに、五輝星、ペニズワイガニ)」は2016年まで「松葉がに(ズワイガニ)」としてカウント ※「マグロ(本マグロ・クロマグロ)」は2016年まで「クロマグロ」でカウント

※「大山どり」は2015年まで「鳥取地どりピヨ・大山どり(鶏肉)」としてカウント ※「ホタルイカ」は2015年まで「シロイカ・ホタルイカ」としてカウント

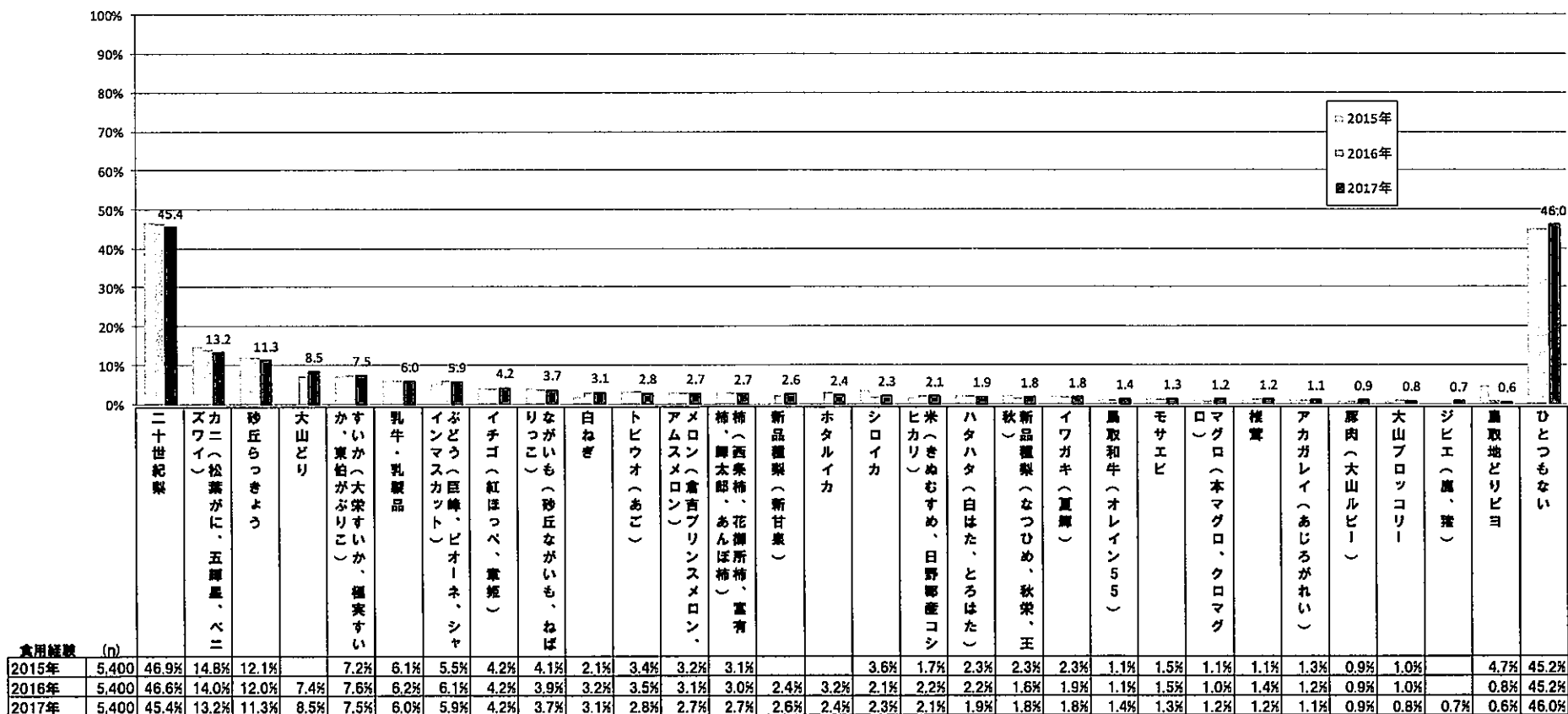
※「新品種梨(新甘泉)」は2015年まで「新品種梨(なつひめ、新甘泉、秋栄、王秋)」としてカウント

2-2. 鳥取県の「特産物」の認知・食用経験・食用意向 <食用経験の推移>

◆ 「大山どり」(8.5%)が1.1pt前年より微増し、「ひとつもない」を除く全体の4位となった。

Q13. 鳥取県が主な産地である「農産物・畜産物・水産物」で、あなたが、[1] 鳥取県が産地であることを知っているもの、[2] 鳥取県産で食べたことがあるもの、[3] 鳥取県産で食べてみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)

※うち「鳥取県産で食べたことがあるもの」の回答



※「カニ(松葉がに、五輝星、ベニズワイガニ)」は2016年まで「松葉がに(ズワイガニ)」としてカウント ※「マグロ(本マグロ・クロマグロ)」は2016年まで「クロマグロ」でカウント

※「大山どり」は2015年まで「鳥取地どりピヨ・大山どり(鶏肉)」としてカウント ※「ホタルイカ」は2015年まで「シロイカ・ホタルイカ」としてカウント

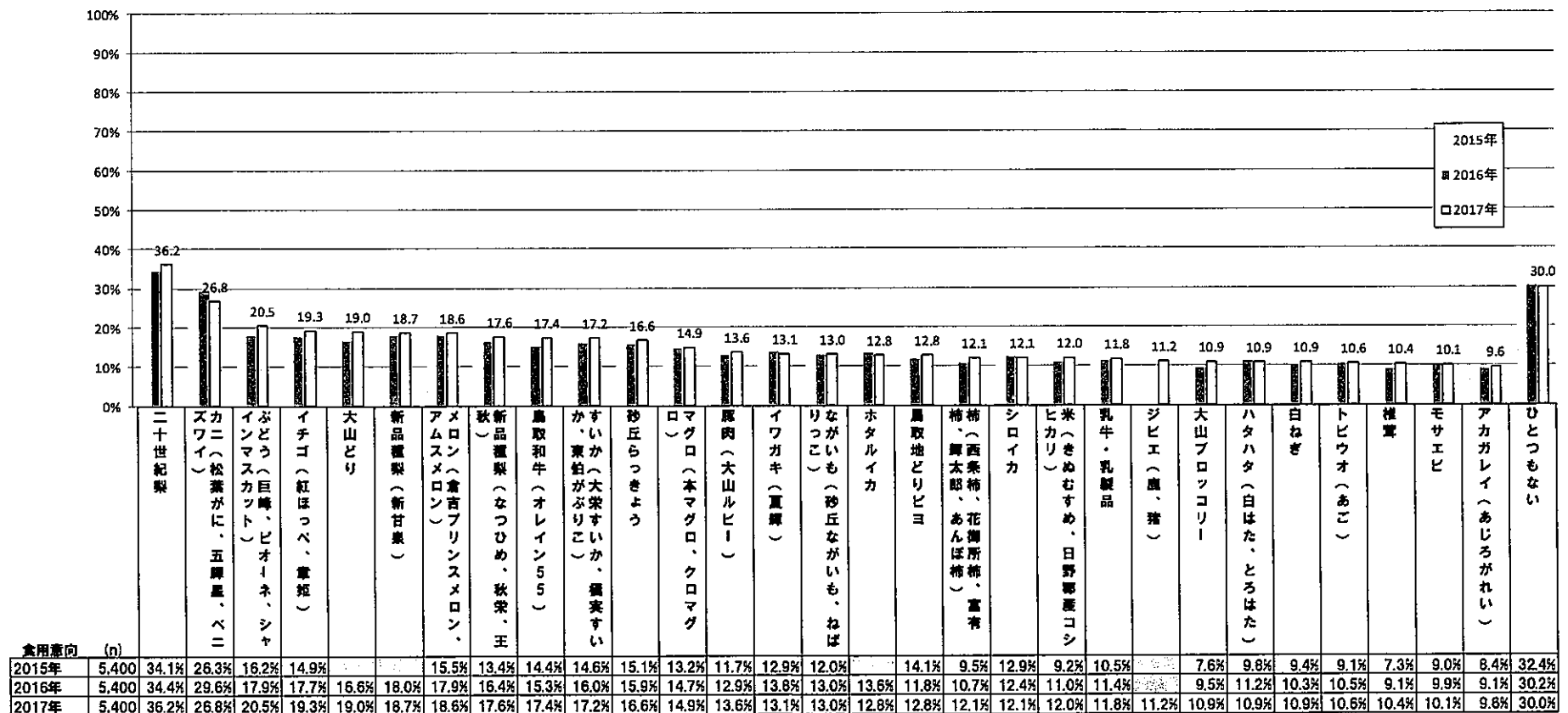
※「新品種梨(新甘泉)」は2015年まで「新品種梨(なつひめ、新甘泉、秋栄、玉秋)」としてカウント

2-2. 鳥取県の「特産物」の認知・食用経験・食用意向 <食用意向の推移>

◆ 特に増加した項目として、果物の「ぶどう(巨峰、ピオーネ、シャインマスカット)」(20.5%)が2.6pt、「イチゴ(紅ほっぺ、章姫)」(19.3%)が1.6pt、それぞれ上昇している。また、肉類の「大山どり」(19%)が2.4pt、「鳥取和牛(オレイン55)」(17.4%)が2.1pt、それぞれ上昇。いずれも前年より2つ順位を上げた。

Q11. 鳥取県が主な産地である「農産物・畜産物・水産物」で、あなたが、[1] 鳥取県が産地であることを知っているもの、[2] 鳥取県産で食べたことがあるもの、[3] 鳥取県産で食べてみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)

※うち「鳥取県産で食べてみたいと思うもの」の回答



※「カニ(松葉がに、五輝星、ベニズワイガニ)」は2016年まで「松葉がに(ズワイガニ)」としてカウント ※「マグロ(本マグロ・クロマグロ)」は2016年まで「クロマグロ」でカウント

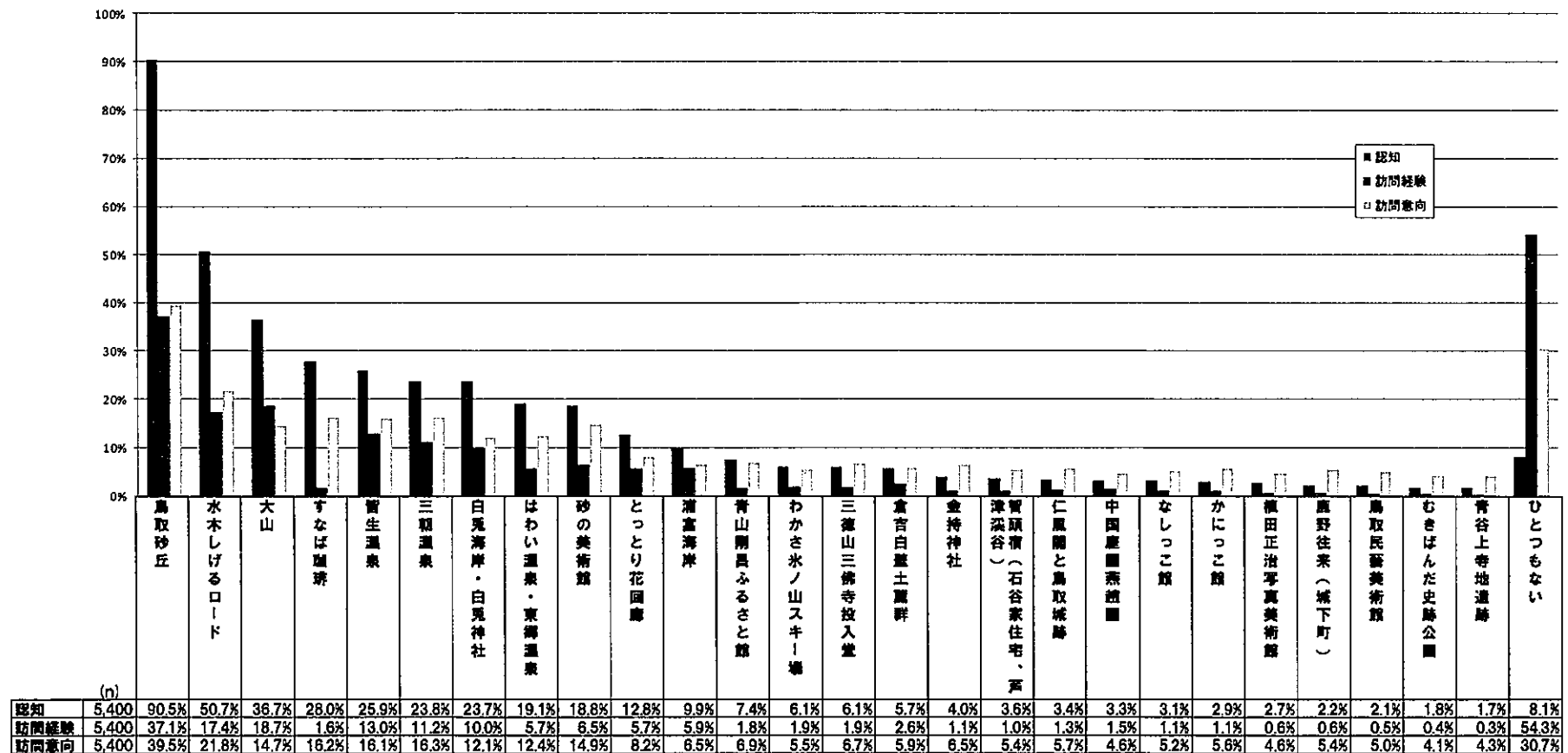
※「大山どり」は2015年まで「鳥取地どりピヨ・大山どり(鶏肉)」としてカウント ※「ホタルイカ」は2015年まで「シロイカ・ホタルイカ」としてカウント

※「新品種梨(新甘泉)」は2015年まで「新品種梨(なつひめ、新甘泉、秋栄、王秋)」としてカウント

2-3. 鳥取県の「観光地等」の認知・訪問経験・訪問意向 <全体一覧>

- ◆ 調査開始以来、「ひとつもない」を除く全ての項目で「鳥取砂丘」がトップとなっている。
- ◆ 認知率では「鳥取砂丘」(90.5%)が突出して高く、「水木しげるロード」(50.7%)、「大山」(36.7%)、「すなば珈琲」(28%)と続く。
- ◆ 訪問経験では「ひとつもない」(54.3%)が最も多い。次いで「鳥取砂丘」(37.1%)、「大山」(18.7%)、「水木しげるロード」(17.4%)と続く。
- ◆ 訪問意向では「鳥取砂丘」(39.5%)、「水木しげるロード」(21.8%)、「三期温泉」(16.3%)が上位に挙がる。

Q14.鳥取県の「観光地等」で、あなたが、[1] 知っているもの、[2] 行ったことがあるもの、[3] 行ってみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)

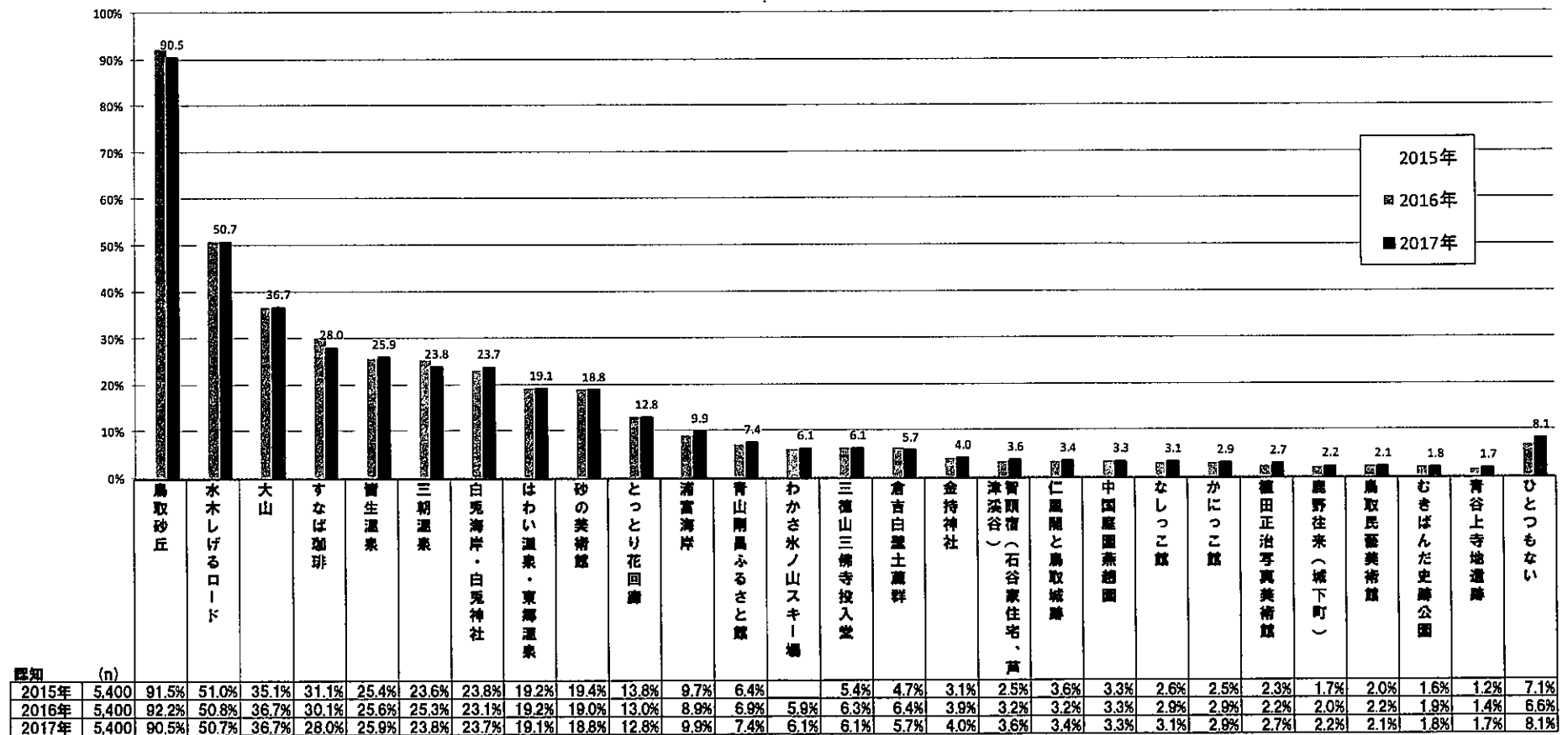


2-3. 鳥取県の「観光地等」の認知・訪問経験・訪問意向 <認知の推移>

- ◆ 全体として大きな変化はない。
- ◆ 「鳥取砂丘」(90.5%)が突出して高く、「水木しげるロード」(50.7%)、「大山」(36.7%)、「すなば珈琲」(28%)と続く。

Q14.鳥取県の「観光地等」で、あなたが、[1] 知っているもの、[2] 行ったことがあるもの、[3] 行ってみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)

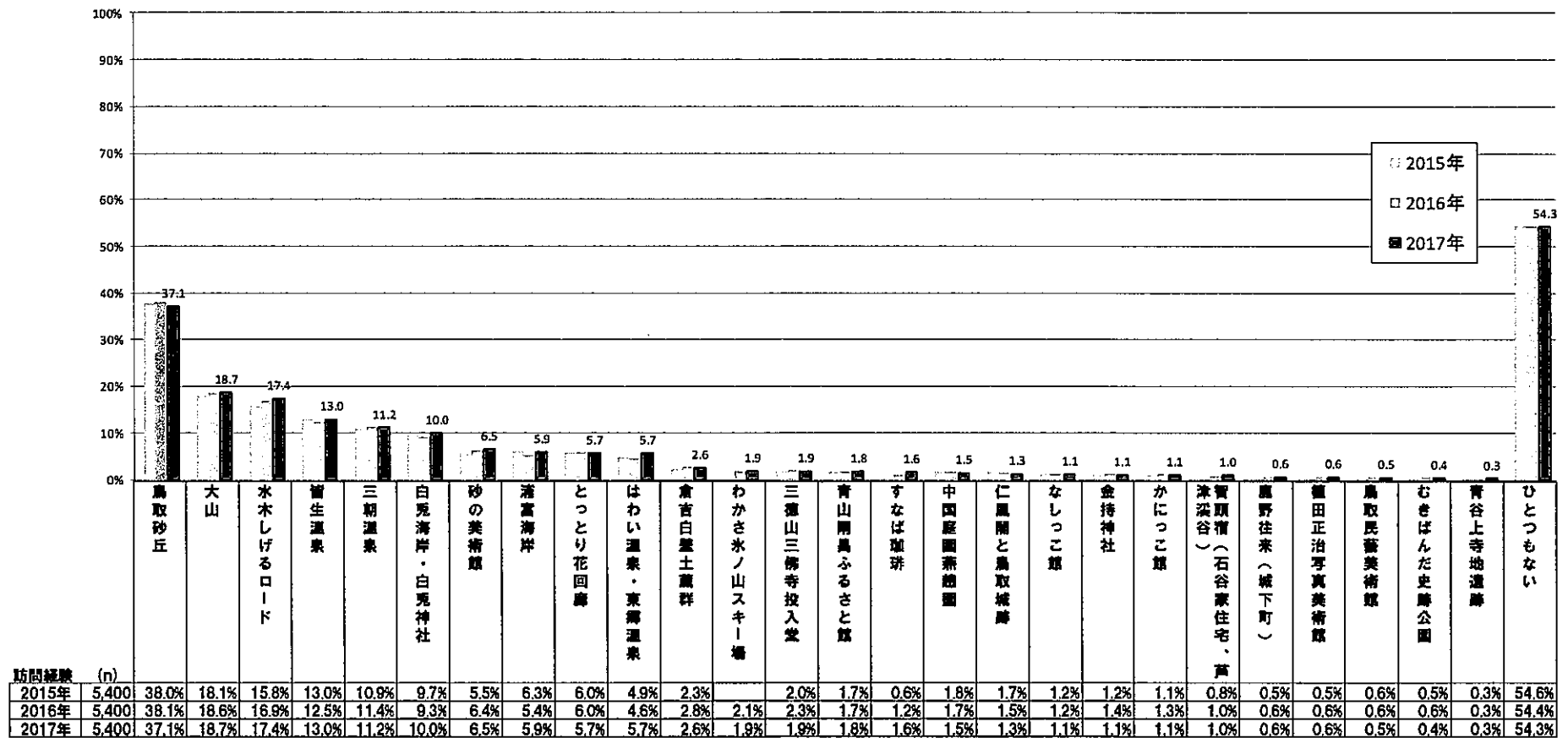
※うち「知っているもの」の回答数



2-3. 鳥取県の「観光地等」の認知・訪問経験・訪問意向 <訪問経験の推移>

- ◆ 全体として大きな変化はない。
- ◆ 「ひとつもない」(54.3%)が最も多い。次いで、「鳥取砂丘」(37.1%)、「大山」(18.7%)、「水木しげるロード」(17.4%)と続く。

Q14.鳥取県の「観光地等」で、あなたが、[1] 知っているもの、[2] 行ったことがあるもの、[3] 行ってみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)
※うち「行ったことがあるもの」の回答数

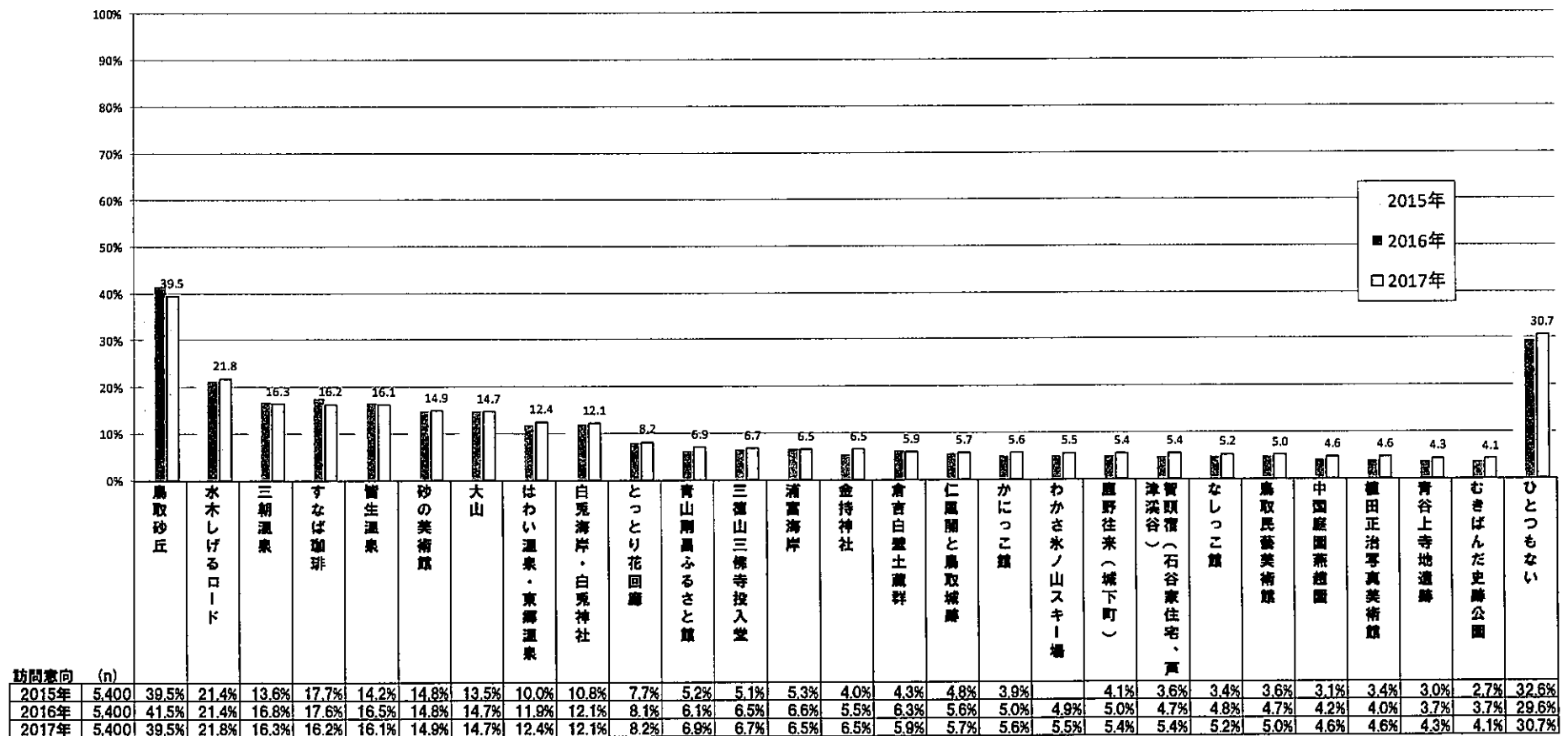


2-3. 鳥取県の「観光地等」の認知・訪問経験・訪問意向 <訪問意向の推移>

- ◆ 全体として大きな変化はない。
- ◆ 「鳥取砂丘」(39.5%)、「水木しげるロード」(21.8%)、「三朝温泉」(16.3%)、「すなば珈琲」(16.2%)が上位に挙がる。一方、「ひとつもない」(30.7%)が3割近くとなっている。

Q14.鳥取県の「観光地等」で、あなたが、[1] 知っているもの、[2] 行ったことがあるもの、[3] 行ってみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)

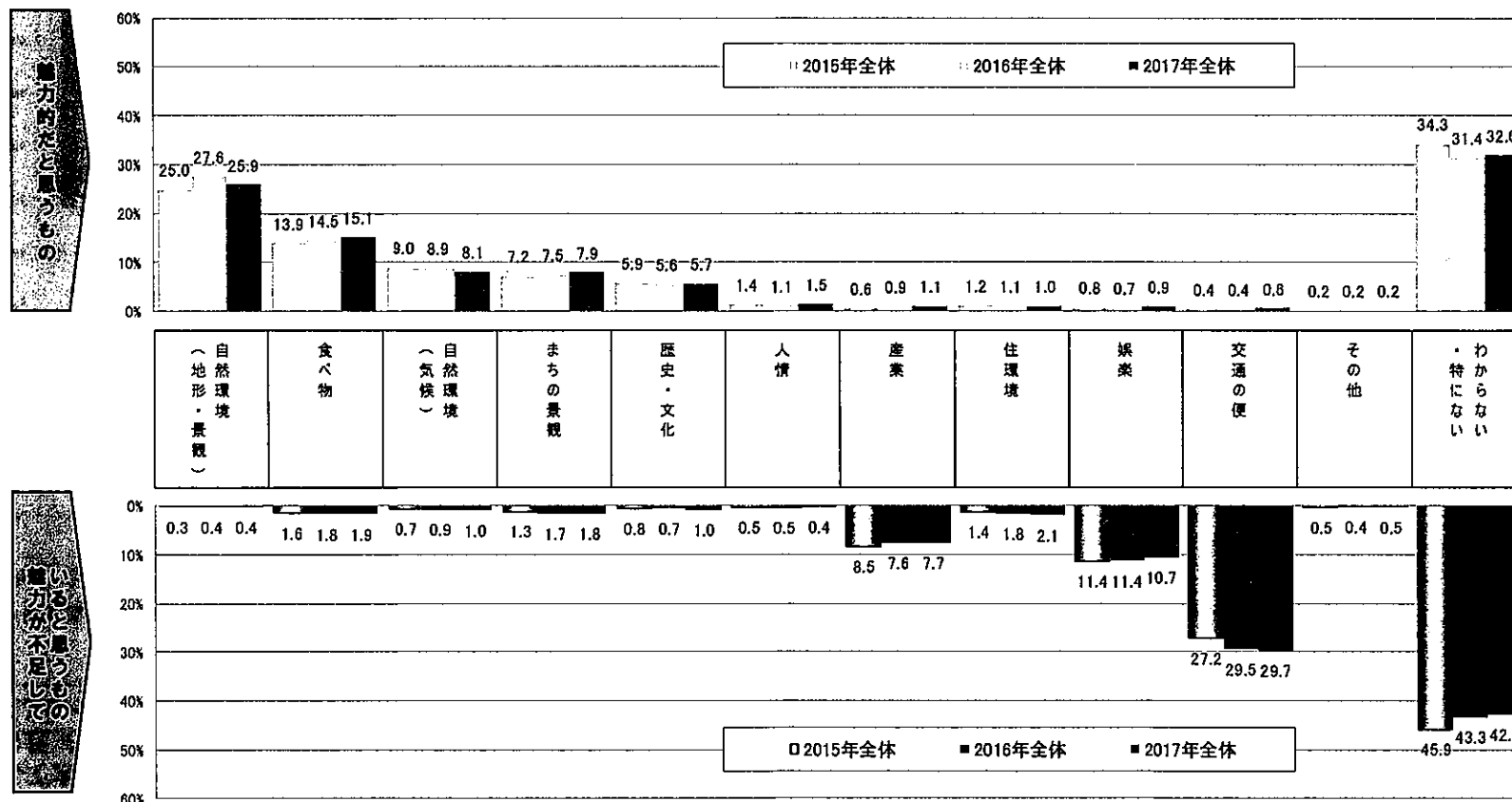
※うち「行ってみたいと思うもの」の回答数



2-4. 鳥取県の魅力点と魅力不足点

- ◆ 【魅力的だと思うもの】のトップは「自然環境(地形・景観)」(25.9%)、以下「食べ物」(15.1%)、「自然環境(気候)」(8.1%)、「まちの景観」(7.9%)、「歴史・文化」(5.7%)の順で続く。
- ◆ 【魅力が不足していると思うもの】のトップは「交通の便」(29.7%)。以下「娯楽」(10.7%)、「産業」(7.7%)が続く。
- ◆ 時系列でみると、【魅力的だと思うもの】では「食べ物」が微増傾向にある。【魅力が不足していると思うもの】では、「わからない・特にない」が減少傾向にある。

Q15. 鳥取県について、[1] 魅力的だと思うもの、[2] 魅力が不足していると思うもの、をそれぞれ1つ選んでください。(それぞれひとつだけ)



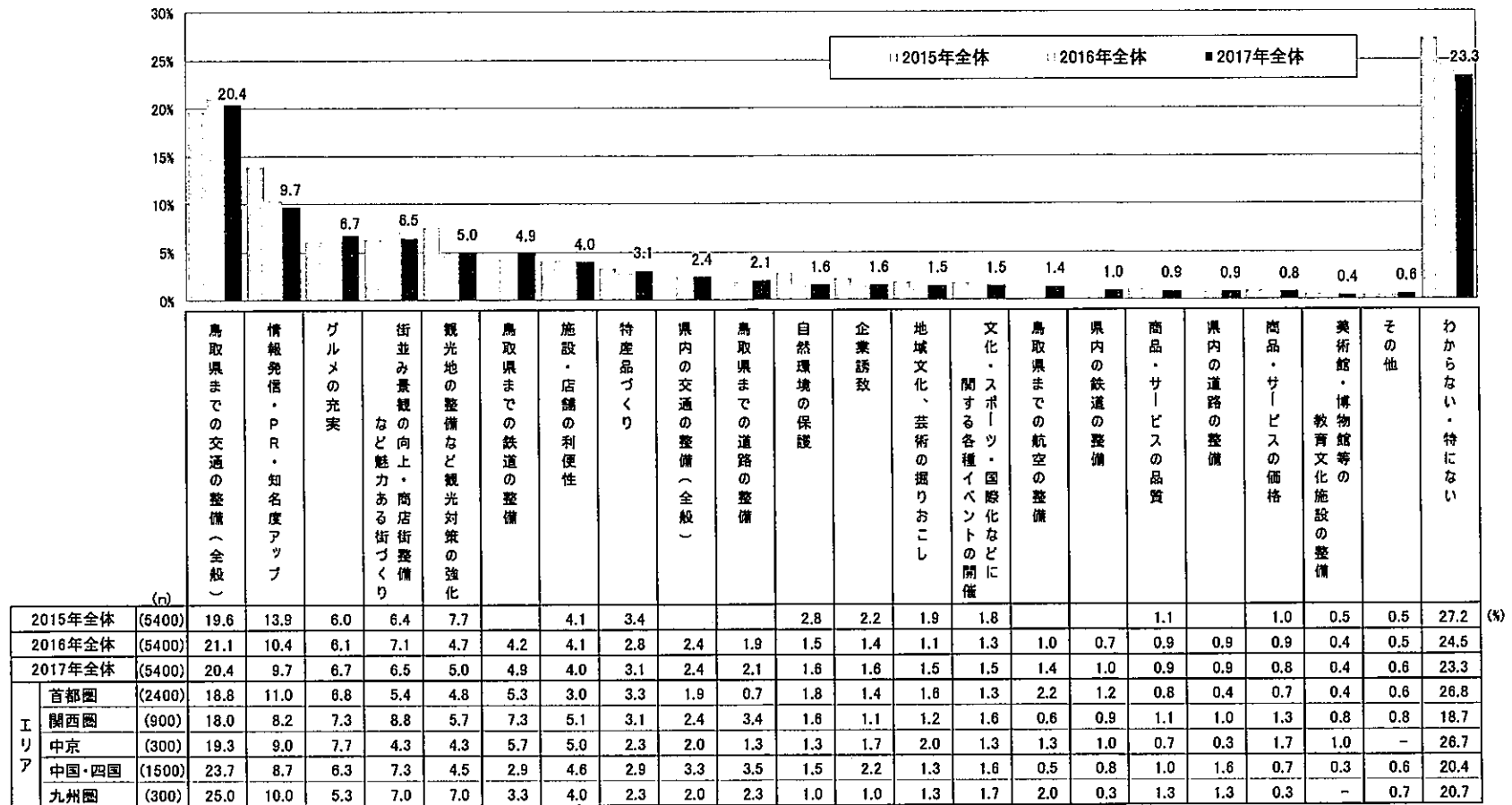
※魅力的だと思うもの「2017年全体」で降順ソート。

【対象者:全員】(n=5400)

2-5. 鳥取県の魅力向上に必要な分野

- ◆ 「鳥取県までの交通の整備(全般)」(20.4%)がトップ。以下「情報発信・PR・知名度アップ」(9.7%)、「グルメの充実」(6.7%)が続く。
- ◆ ほぼ4人に1人が「わからない・特にない」(23.3%)と回答している。
- ◆ 時系列で見ると、「鳥取県までの交通の整備(全般)」がトップで変わらない。「情報発信・PR・知名度アップ」と「わからない・特にない」が減少傾向にある。

Q16. 鳥取県の魅力を高めていくためには、どのような分野に力を入れていく必要があると思いますか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



※「2017年全体」で降順ソート。

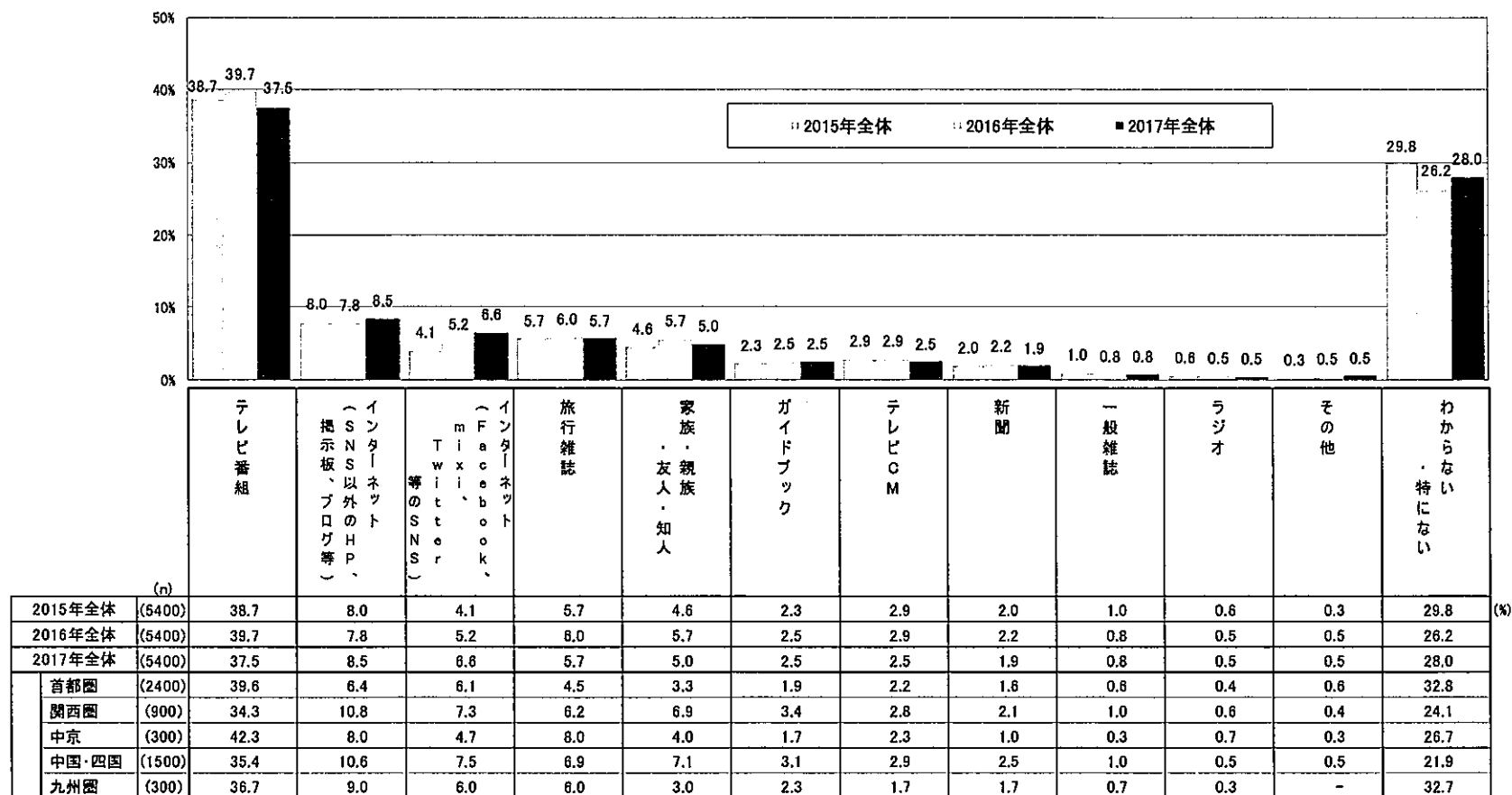
※「鳥取県までの交通の整備(全般)」の2015年は、「交通網の整備」で聴取。

【対象者: 全員】

2-6. 鳥取県に関する主な情報入手経路

◆ 「テレビ番組」(37.5%)が主要情報源となっているが、前年より2.2pt微減している。大差があり2位に「インターネット(SNS以外のHP、掲示板、ブログ等)」(8.5%)が続く。3位の「インターネット(Facebook、mixi、Twitter等のSNS)」(6.6%)は前年から1.4pt微増した結果、調査開始以来初めて「旅行雑誌」(5.7%)、「家族・親族・友人・知人」(5%)を上回った。

Q17. あなたは、鳥取県に関する情報を、どこから得ることが多いですか。最も主要なものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



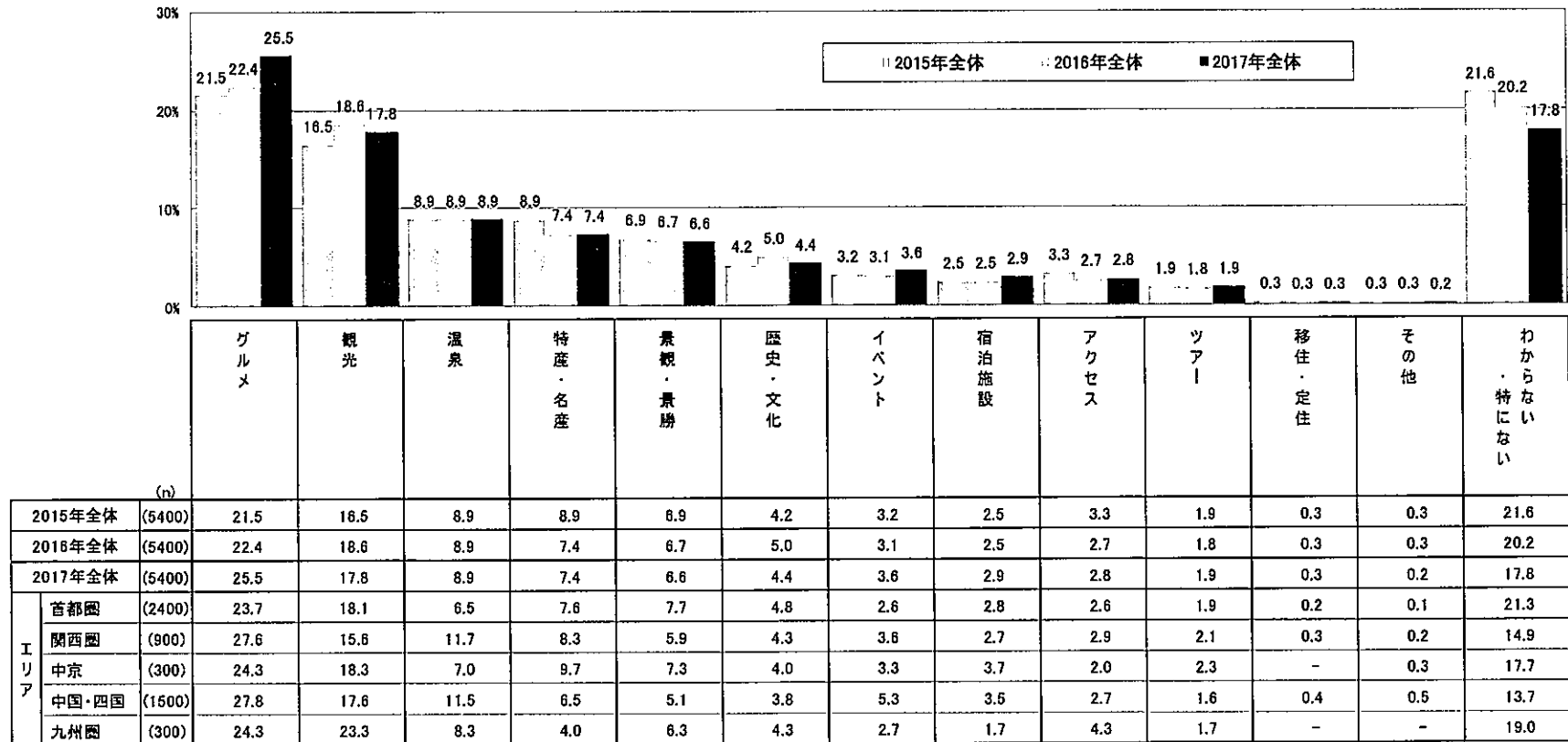
※「2017年全体」で降順ソート。

【対象者:全員】

2-7. 鳥取県について得たい情報

- ◆ 「グルメ」(25.5%)が最も高く、次いで「観光」(17.8%)、「温泉」(8.9%)、「特産・名産」(7.4%)、「景観・景勝」(6.6%)と続く。
- ◆ 時系列で見ると、トップの「グルメ」は昨年に比べて3.1ptアップしており、この3年間で増加傾向にある。
- ◆ 「わからない・特にない」は昨年から2.4pt減少し、この3年間で減少傾向にある。

Q24. 鳥取県について、あなたは、今後どのような情報を得たいですか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)







※「2017年全体」で降順ソート。

【対象者:全員】

3. 鳥取県への訪問意向について

※数表内の網掛け

-  2017年全体値より10%以上高いもの
-  2017年全体値より5%以上高いもの
-  2017年全体値より5%以上低いもの
-  2017年全体値より10%以上低いもの

但し、n=30未満は除く。
(以降のページも同様。)

3-1. 鳥取県への訪問意向

◆ 「行ってみたい」(73.1%)は、昨年と同程度。この3年間では7割強で推移している。

- ▶ エリア別で見ると、中国・四国(77.9%)、関西圏(77.3%)などが上位で高く、首都圏(69%)が最も低かった。
- ▶ エリア×年代別では、関西圏10代、中京20代、中国・四国10代・60代以上、九州圏40代で、共通して8割程度と特に高い。一方、中京と九州圏の10代・30代で、全体を10pt前後下回っており、他層に比べて相対的に低い。

Q18. あなたは、鳥取県に行ってみたいと思いますか。(ひとつだけ)

		(n)	行ってみたい (%)	行きたくない (%)
2015年全体		(5400)	71.2	28.8
2016年全体		(5400)	71.9	28.1
2017年全体		(5400)	73.1	26.9
エリア×年代	首都圏	(2400)	69.0	31.0
	10代	(303)	66.0	34.0
	20代	(497)	69.6	30.4
	30代	(400)	68.8	31.3
	40代	(400)	67.8	32.3
	50代	(400)	69.5	30.5
	60代以上	(400)	71.3	28.8
	関西圏	(900)	77.3	22.7
	10代	(139)	82.7	17.3
	20代	(161)	74.5	25.5
	30代	(150)	77.3	22.7
	40代	(150)	76.7	23.3
	50代	(150)	76.7	23.3
	60代以上	(150)	76.7	23.3
	中京	(300)	72.3	27.7
	10代	(50)	60.0	40.0
	20代	(50)	80.0	20.0
	30代	(50)	64.0	36.0
	40代	(50)	76.0	24.0
	50代	(50)	76.0	24.0
60代以上	(50)	78.0	22.0	

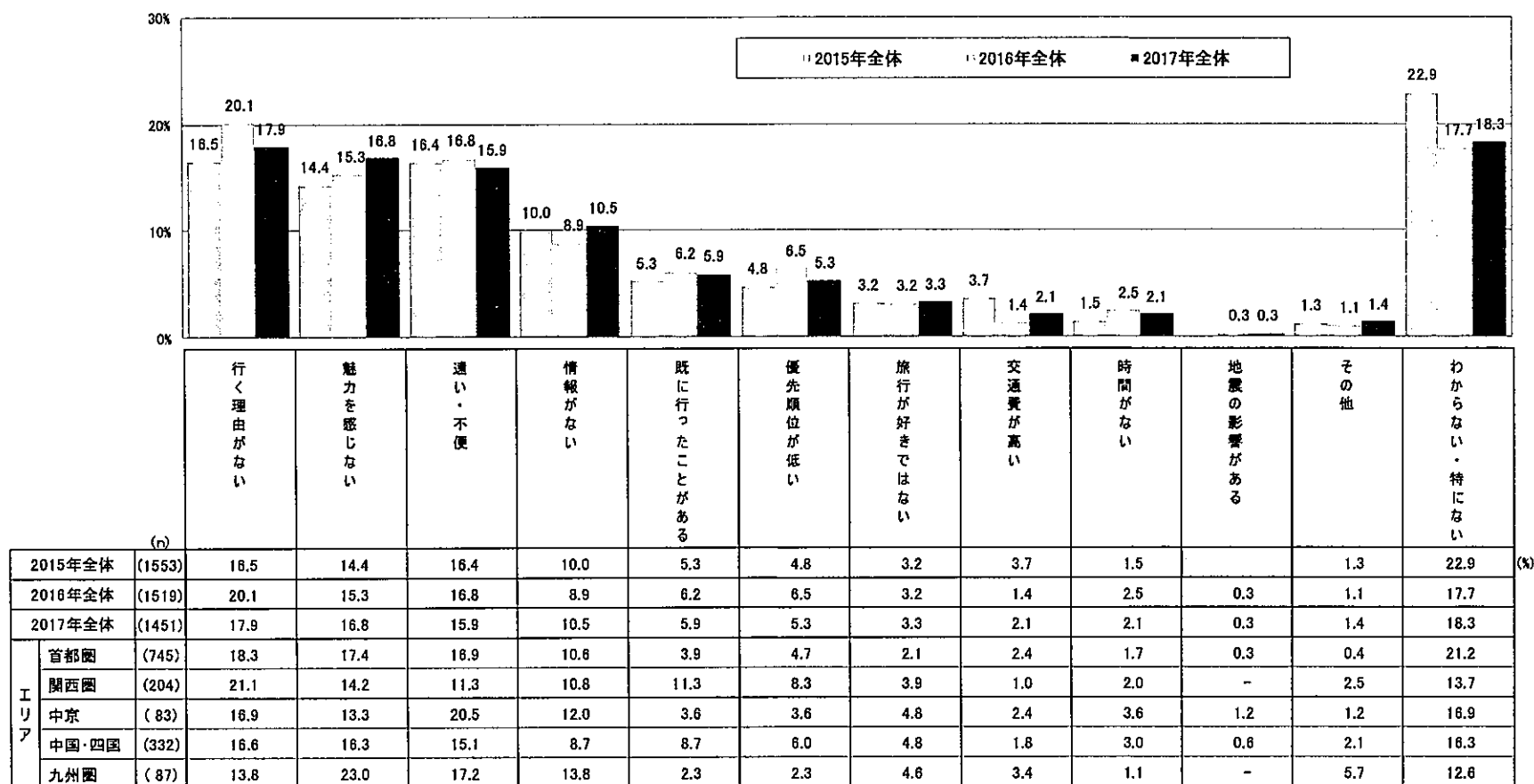
		(n)	行ってみたい (%)	行きたくない (%)
2015年全体		(5400)	71.2	28.8
2016年全体		(5400)	71.9	28.1
2017年全体		(5400)	73.1	26.9
エリア×年代	中国・四国	(1500)	77.9	22.1
	10代	(76)	81.6	18.4
	20代	(377)	73.2	26.8
	30代	(274)	78.8	21.2
	40代	(270)	79.3	20.7
	50代	(253)	77.5	22.5
	60代以上	(250)	81.6	18.4
	九州圏	(300)	71.0	29.0
	10代	(39)	64.1	35.9
	20代	(61)	70.5	29.5
	30代	(50)	64.0	36.0
	40代	(50)	80.0	20.0
	50代	(50)	72.0	28.0
	60代以上	(50)	74.0	26.0

【対象者:全員】

3-2. 鳥取県への非訪問意向理由

- ◆ 「行きたくない」と回答した人の理由は、「行く理由がない」(17.9%)、「魅力を感じない」(16.8%)、「遠い・不便」(15.9%)がトップ3。
- ◆ 時系列でみると、依然としてトップ3は同様の傾向にある。その中で「行く理由がない」が昨年に比べて2.2pt減少した。一方、「魅力を感じない」(16.8%)がこの3年間で微増傾向にあり、「遠い・不便」(15.9%)を抜いて2位に浮上した。それ以外は昨年とそれほど変わらない。
- エリア別でみると、九州圏で「魅力を感じない」、関西圏で「既に行ったことがある」の割合が、それぞれ他エリアに比べてやや高い。

Q19. 【前問で「行きたくない」とお答えの方にお伺いします。】 その理由は何ですか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



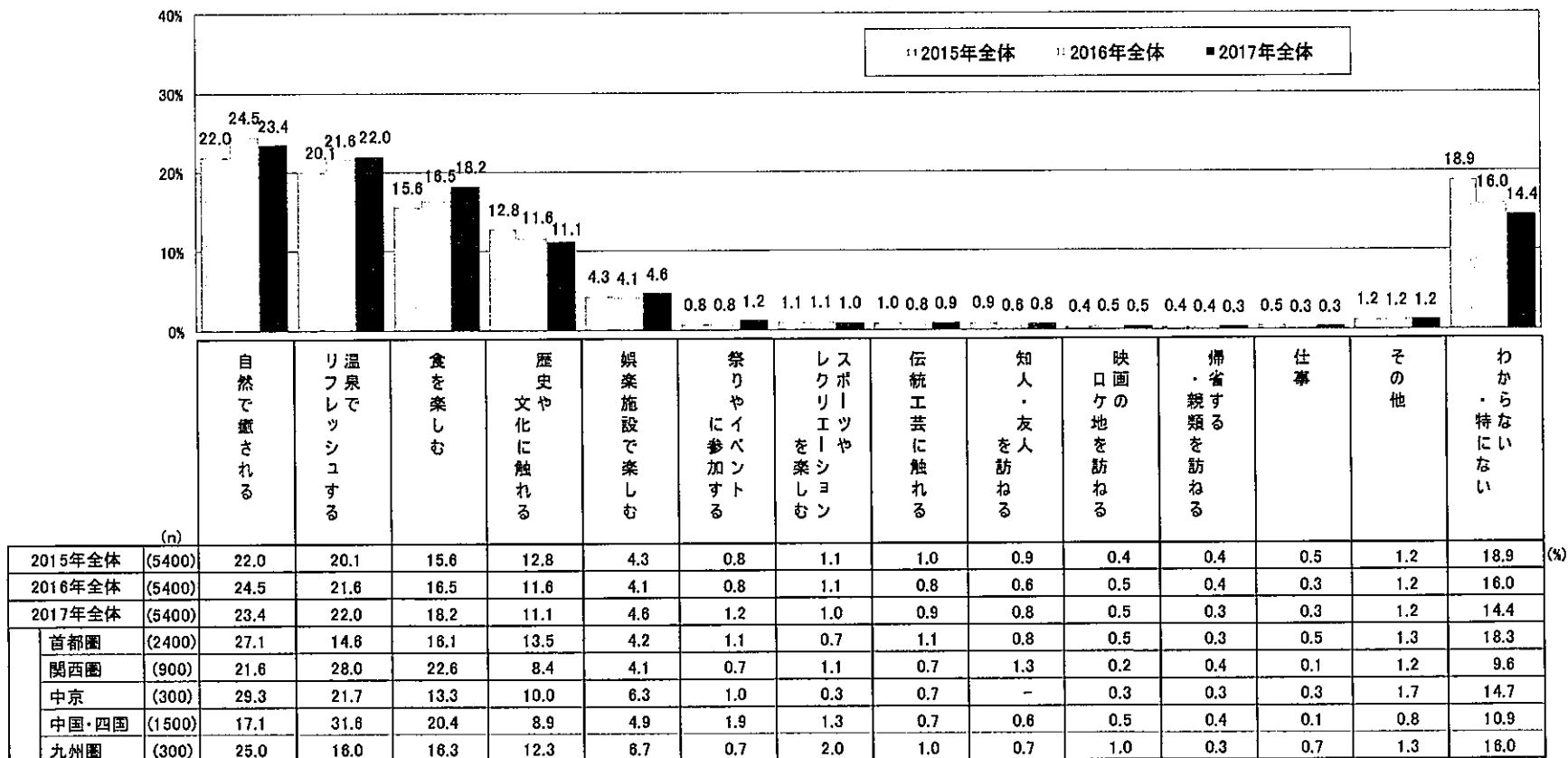
※「2017年全体」で降順ソート。

【対象者：鳥取県への非訪問意向者】

3-3. 今後の鳥取県への訪問時の主要目的

- ◆ 「自然で癒される」(23.4%)、「温泉でリフレッシュする」(22%)、「食を楽しむ」(18.2%)がトップ3。次いで「歴史や文化に触れる」(11.1%)が続き、上位4項目だけで、全体の3/4程度(74.7%)を占める。
- ◆ 時系列で見ると、「食を楽しむ」は微増傾向にある。一方、「わからない・特にない」のスコアが年々減少している。
 - エリア別にみると、中京で「自然で癒される」、関西圏、中国・四国で「温泉でリフレッシュする」がそれぞれ3割前後とやや高く、目的がやや異なる。

Q20. 今後、鳥取県を訪れるとした場合、何を目的に訪れたいですか。最も主要なものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



※「2017年全体」で降順ソート。

【対象者：全員】

3-4. 鳥取県への訪問意向ランキング順位

- ◆ ランキングを4区分で見ると、最も下位の「31～47位」(32.7%)が最多。僅差で「21～30位」(32.2%)が続く。この2区分で全体のほぼ2/3を占める。以下、「11～20位」(25.2%)、「1～10位」(9.9%)と、ランキングが上昇するにつれて、スコアは減少傾向。
- ◆ 時系列で見ると、昨年に比べて全体的なランキングは上昇し、総じて2015年と同水準に戻った。
 - エリア別に見ると、ランキング上位の「1～10位」と「11～20位」の割合は関西圏(42.1%)で最も高い。一方、九州圏(28%)で最も低い。
 - エリア×年代別では、「1～10位」と「11～20位」の割合は、中京50代、中国・四国60代以上で半数前後を占めており特に高い。一方、ランキングの低い「31～47位」は、九州圏50代で過半数(52%)と最も高く、首都圏40代・50代、中京30代、九州圏10代・40代でも4割以上を占めておりやや高い。

Q21. あなたが行ってみたい都道府県を、1位から47位までランキング順位付けした場合、鳥取県のランキングは概ねどのあたりですか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

		(n)	1～10位	11～20位	21～30位	31～47位
エリア×年代	2015年全体	(5400)	10.7	25.8	30.6	32.9
	2016年全体	(5400)	8.4	21.9	31.7	37.9
	2017年全体	(5400)	9.9	25.2	32.2	32.7
	首都圏	(2400)	8.8	22.0	31.0	38.1
	10代	(303)	7.6	21.5	32.3	38.6
	20代	(497)	6.8	22.5	35.2	35.4
	30代	(400)	10.5	17.3	33.8	38.5
	40代	(400)	9.0	20.0	25.8	45.3
	50代	(400)	10.5	21.5	27.8	40.3
	60代以上	(400)	8.5	29.3	30.8	31.5
	関西圏	(900)	11.6	30.3	33.3	24.6
	10代	(139)	8.6	36.0	33.8	21.6
	20代	(161)	9.9	25.5	30.4	34.2
	30代	(150)	13.3	30.7	33.3	22.7
	40代	(150)	13.3	25.3	38.7	22.7
	50代	(150)	15.3	29.3	31.3	24.0
	60代以上	(150)	10.0	36.0	32.7	21.3
	中京	(300)	9.3	24.3	38.0	28.3
	10代	(50)	6.0	22.0	36.0	36.0
	20代	(50)	4.0	24.0	46.0	26.0
30代	(50)	4.0	24.0	30.0	42.0	
40代	(50)	8.0	18.0	48.0	26.0	
50代	(50)	18.0	34.0	26.0	22.0	
60代以上	(50)	16.0	24.0	42.0	18.0	

		(n)	1～10位	11～20位	21～30位	31～47位
エリア×年代	2015年全体	(5400)	10.7	25.8	30.6	32.9
	2016年全体	(5400)	8.4	21.9	31.7	37.9
	2017年全体	(5400)	9.9	25.2	32.2	32.7
	中国・四国	(1500)	11.9	27.5	32.0	28.5
	10代	(76)	10.5	27.6	38.2	23.7
	20代	(377)	8.5	26.3	34.7	30.5
	30代	(274)	10.8	30.3	31.0	28.1
	40代	(270)	12.6	25.6	31.9	30.0
	50代	(253)	14.6	23.3	30.4	31.6
	60代以上	(250)	15.6	32.8	28.8	22.8
	九州圏	(300)	4.0	24.0	33.7	38.3
	10代	(39)	5.1	20.5	30.8	43.6
20代	(61)	4.9	16.4	47.5	31.1	
30代	(50)	4.0	24.0	36.0	36.0	
40代	(50)	2.0	40.0	18.0	40.0	
50代	(50)	4.0	18.0	26.0	52.0	
60代以上	(50)	4.0	26.0	40.0	30.0	

【対象者: 全員】

3-5. 鳥取県に対する満足度

- ◆ 「非常に満足」(5.1%)、「概ね満足」(31.7%)を合わせた36.8%が“満足”と評価。全体的には「普通」評価が57.5%と大半を占めた。
- ◆ 時系列で見ると、「満足計」の割合は昨年と同程度で変わらない。
 - エリア別にみると、中京の満足度がほかのエリアに比べて最も高く、九州圏の満足度が最も低い。
 - エリア×年代別では、首都圏20代、関西圏と中国・四国の10代の満足度が相対的に高い。特に関西圏10代では7割強と顕著。

Q22.【鳥取県を「訪れたことがある」、又は鳥取県に「居住したことがある」とお答えの方にお伺いします。】
他の都道府県と比べ鳥取県(県民・施設・店舗等)のあなたに対する「おもてなし」はいかがでしたか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

	(n)	満足度 (%)					満足計
		非常に満足	概ね満足	普通	概ね不満	非常に不満	
2015年全体	(2610)	4.7	29.6	60.2	4.4	1.2	34.3
2016年全体	(2568)	5.5	30.9	58.8	3.9	0.9	36.4
2017年全体	(2592)	5.1	31.7	57.5	4.6	1.1	36.8
エリア×年代							
首都圏	(642)	5.1	29.3	59.0	5.6	0.9	34.4
10代	(25)	24.0	32.0	44.0	0	0	56.0
20代	(123)	8.1	39.0	44.7	5.7	2.4	47.2
30代	(91)	6.6	28.6	54.9	8.8	1.1	35.2
40代	(85)	3.5	21.2	68.2	7.1	0	24.7
50代	(114)	3.5	25.4	65.8	4.4	0.9	28.9
60代以上	(204)	2.0	28.9	63.7	4.9	0.5	30.9
関西圏	(618)	6.1	31.6	57.1	4.0	1.1	37.7
10代	(63)	19.0	54.0	23.8	1.8	1.6	73.0
20代	(96)	10.4	29.2	56.3	3.1	1.0	39.6
30代	(101)	6.9	37.6	48.5	5.0	2.0	44.6
40代	(104)	4.8	26.9	62.5	4.8	1.0	31.7
50代	(123)	2.4	30.1	66.7	0.8	0	32.5
60代以上	(131)	0.8	22.9	67.2	7.6	1.5	23.7
中京	(110)	4.5	37.3	50.9	6.4	0.9	41.8
10代	(12)	8.3	50.0	33.3	8.3	0	58.3
20代	(10)	10.0	50.0	40.0	0	0	60.0
30代	(16)	0	31.3	50.0	12.5	6.2	31.3
40代	(21)	4.8	38.1	52.4	4.8	0	42.9
50代	(22)	4.5	36.4	59.1	0	0	40.9
60代以上	(29)	3.4	31.0	55.2	10.3	0	34.5

	(n)	満足度 (%)					満足計
		非常に満足	概ね満足	普通	概ね不満	非常に不満	
2015年全体	(2610)	4.7	29.6	60.2	4.4	1.2	34.3
2016年全体	(2568)	5.5	30.9	58.8	3.9	0.9	36.4
2017年全体	(2592)	5.1	31.7	57.5	4.6	1.1	36.8
エリア×年代							
中国・四国	(1103)	4.6	33.2	57.4	3.6	1.2	37.8
10代	(53)	13.2	35.8	49.1	0	1.9	49.1
20代	(245)	4.1	38.4	52.2	4.1	1.2	42.4
30代	(195)	3.6	33.8	56.4	4.1	2.1	37.4
40代	(198)	5.1	30.3	59.6	3.5	1.5	35.4
50代	(195)	4.6	28.2	63.1	3.6	0.5	32.8
60代以上	(217)	3.7	33.2	59.0	3.7	0.5	36.9
九州圏	(119)	4.2	26.9	58.0	10.1	0.8	31.1
10代	(7)	14.3	57.1	28.6	0	0	71.4
20代	(20)	5.0	35.0	50.0	10.0	0	40.0
30代	(17)	0	35.3	52.9	11.8	0	35.3
40代	(18)	5.6	22.2	50.0	16.7	5.6	27.8
50代	(21)	4.8	9.5	71.4	14.3	0	14.3
60代以上	(36)	2.8	25.0	66.7	5.6	0	27.8

【対象者：鳥取県に訪問・居住経験者】

